

# うるま

## 市議会 だより

今回の定例会は

2月 6月

第54号

12月 9月

平成30年(2018)

発行 12月 1日



平成30年 第127回うるま市議会臨時会(初議会) 平成30年10月22日

市の将来像『愛してます 住みよいまち うるま』の実現のため鋭意精進します。

### 9月定例会

8月22日から9月13日までの23日間の会期で開催され、平成29年度各会計の決算認定や平成30年度各会計補正予算、指定管理者の指定などが、認定及び可決等されました。

また、福祉や教育を初め、環境や災害対策など市政全般について、27人の議員から一般質問がありました。

### 10月臨時会

10月20日から10月22日までの3日間の会期で開催され、正副議長を初め、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の正副委員長が互選されました。

### 目次

定例会及び臨時会の経過	2
定例会及び臨時会の議決結果	3
常任委員会の審査概要	5
一般質問	6
意見書及び抗議決議	20
うるま市こども議会	21
市議会組織構成図	22
平成29年度政務活動費の使いみち	24



うるま市議会ホームページ

<http://www.city.uruma.lg.jp/shisei/162>



市長 和田 和  
副市長 地 幸



副市長 長 宜 徳  
副市長 名 嘉 眞

## 就任のご挨拶

去る9月30日に、うるま市誕生後4回目の市議会議員選挙が執行され、10月20日の初議会において議員各位のご推挙を得て第6代議長、第7代副議長に就任し、改めてその責任の重大さを痛感しているところであります。

国が地方創生や地域再生を推し進める中、市議会といえども更なる行財政改革により財政の健全化を図り、本市の均衡ある発展と市民福祉の向上に努めなければなりません。

私どもは、市民の意見を市政に反映させるべく、公正・公平な議会運営に努めるとともに、行政当局と建設的で真摯な議論を展開し、魅力ある、安全で安心して暮らせるまちづくりの推進に、誠心誠意努めてまいり所存であります。

今後とも市民皆様のご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

## 《平成30年9月第126回定例会の経過》

月	日(曜日)	日 程	出席議員	傍聴人	備 考
8月	20日(月)	会期及び日程、議事運営等	-	-	議会運営委員会
	22日(水)	会期決定、議案提案説明等	29人	1人	
	23日(木)	議案研究	-	-	休会
	24日(金)	議案研究	-	-	休会
	27日(月)	質疑(質疑者4人)、委員会付託	29人	1人	
	28日(火)		-	-	休会
	29日(水)	付託案件の審査	-	-	企画総務委員会、建設委員会、教育福祉委員会、市民経済委員会
	30日(木)	付託案件の審査	-	-	企画総務委員会、建設委員会、市民経済委員会
	31日(金)		-	-	議会改革調査特別委員会
	9月	3日(月)	一般質問(1日目:質問者4人)	29人	5人
4日(火)		先議案件:委員長報告、討論、採決 追加議案:提案説明 一般質問(2日目:質問者4人)	28人	1人	基地対策特別委員会
5日(水)		追加議案:質疑(質疑者2人)、委員会付託 一般質問(3日目:質問者3人)	28人	2人	企画総務委員会
6日(木)		一般質問(4日目:質問者4人)	28人	0人	議会広報編集調査特別委員会
7日(金)		一般質問(5日目:質問者4人)	28人	0人	
10日(月)		一般質問(6日目:質問者4人)	28人	1人	
11日(火)		一般質問(7日目:質問者4人)	29人	7人	全員協議会
12日(水)		事務整理	-	-	休会
13日(木)		委員長報告、陳情処理、発議、討論、採決 議会改革調査特別委員会(中間報告)	29人	3人	

## 《平成30年10月第127回臨時会の経過》

月	日(曜日)	日 程	出席議員	傍聴人	備 考
10月	20日(土)	臨時議長紹介、仮議席指定、議長選挙 追加議事日程:議席指定、会期決定、副議長選挙、常任委員の選任、議長の常任委員の辞任等	30人	1人	企画総務委員会、建設委員会、教育福祉委員会、市民経済委員会、会派代表者会議
	22日(月)	議会運営委員会委員の選任、一部事務組合議会議員選挙、基地対策特別委員会の設置及び委員の選任、議会広報特別委員会の設置及び委員の選任、議員派遣等	30人	0人	全員協議会、議会運営委員会、基地対策特別委員会、議会広報特別委員会

※第127回臨時会において議会広報編集調査特別委員会から議会広報特別委員会に名称を改めた。

平成30年9月第126回うるま市議会(定例会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
認定第1号	平成29年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について (歳入58,135,970,022円 歳出55,686,611,943円 差額2,449,358,079円)	市長	9月13日	認定
認定第2号	平成29年度うるま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について (歳入21,090,777,336円 歳出20,447,442,482円 差額643,334,854円)	〃	〃	〃
認定第3号	平成29年度うるま市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について (歳入2,597,324,701円 歳出2,517,815,788円 差額79,508,913円)	〃	〃	〃
認定第4号	平成29年度うるま市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について (歳入9,641,630,720円 歳出9,606,683,870円 差額34,946,850円)	〃	〃	〃
認定第5号	平成29年度うるま市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について (歳入22,981,651円 歳出21,830,435円 差額1,151,216円)	〃	〃	〃
認定第6号	平成29年度うるま市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について (歳入957,871,054円 歳出949,866,451円 差額8,004,603円)	〃	〃	〃
認定第7号	平成29年度うるま市水道事業会計決算認定について	〃	〃	〃
報告第24号	平成29年度決算に基づくうるま市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	〃	8月27日	報告
報告第25号	うるま市教育委員会事務点検・評価の報告について(平成29年度事業対象)	〃	〃	〃
報告第26号	放棄した債権の報告について(損害賠償金)	〃	〃	〃
報告第27号	放棄した債権の報告について(住宅使用料等)	〃	〃	〃
報告第28号	放棄した債権の報告について(生活保護費返還金)	〃	〃	〃
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について (普天間 隆)	〃	9月13日	適任
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について (照屋 フジ子)	〃	〃	〃
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦について (荒城 幸子)	〃	〃	〃
諮問第6号	人権擁護委員候補者の推薦について (徳本 紀子)	〃	〃	〃
議案第75号	平成29年度うるま市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	〃	〃	原案可決
議案第76号	平成30年度うるま市一般会計補正予算(第3号) (補正額:3,646,204千円 補正後予算:58,267,542千円)	〃	9月4日	〃
議案第77号	平成30年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (補正額:461,063千円 補正後予算:16,251,898千円)	〃	〃	〃
議案第78号	平成30年度うるま市介護保険特別会計補正予算(第2号) (補正額:84,407千円 補正後予算:9,534,899千円)	〃	〃	〃
議案第79号	平成30年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (補正額:8,004千円 補正後予算:1,017,184千円)	〃	〃	〃
議案第80号	平成30年度うるま市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) (補正額:1,150千円 補正後予算:27,997千円)	〃	〃	〃
議案第81号	平成30年度うるま市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) (補正額:68,587千円 補正後予算:2,429,439千円)	〃	〃	〃
議案第82号	物品の取得について(大型化学消防自動車) (契約金額:89,100,000円)	〃	〃	〃
議案第83号	物品の取得について(高規格救急自動車) (契約金額:22,140,000円)	〃	〃	〃
議案第84号	物品の取得について(水槽付消防ポンプ自動車) (契約金額:72,360,000円)	〃	〃	〃
議案第85号	字の区域の変更について(うるま市屋慶名土地区画整理事業地区) (うるま市屋慶名土地区画整理事業地区の換地処分のため、現字区域界を変更するため)	〃	9月13日	〃
議案第86号	指定管理者の指定について(うるま市みどり町児童センター) (指定管理者:一般社団法人りあん)	〃	〃	〃
議案第87号	指定管理者の指定について(うるま市いしかわ児童館(チャレンジ館)) (指定管理者:一般社団法人りあん)	〃	〃	〃
議案第88号	指定管理者の指定について(うるま市屋慶名児童館) (指定管理者:一般社団法人りあん)	〃	〃	〃
議案第89号	指定管理者の指定について(うるま市なかきす児童センター) (指定管理者:豊原区自治会)	〃	〃	〃
議案第90号	指定管理者の指定について(うるま市きむたかこどもセンター) (指定管理者:平敷屋自治会)	〃	〃	〃
議案第91号	指定管理者の指定について(うるま市宮城児童館) (指定管理者:宮城自治会)	〃	〃	〃
議案第92号	赤道小学校校舎・幼稚園・学童クラブ新增改築工事(建築)請負契約について (契約金額:1,916,460,000円)	〃	〃	〃
議案第93号	赤道小学校校舎・幼稚園・学童クラブ新增改築工事(電気)請負契約について (契約金額:220,320,000円)	〃	〃	〃
議案第94号	赤道小学校校舎・幼稚園・学童クラブ新增改築工事(機械)請負契約について (契約金額:197,640,000円)	〃	〃	〃

平成30年9月第126回うるま市議会(定例会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
議案第 95 号	宮森小学校校舎・水泳プール・学童クラブ新增改築工事(建築)請負契約について(契約金額:1,574,532,000円)	市 長	9月13日	原案可決
議案第 96 号	宮森小学校校舎・水泳プール・学童クラブ新增改築工事(電気)請負契約について(契約金額:184,518,000円)	〃	〃	〃
議案第 97 号	宮森小学校校舎・水泳プール・学童クラブ新增改築工事(機械)請負契約について(契約金額:150,724,800円)	〃	〃	〃
議案第 98 号	うるま市行政不服審査会条例の一部を改正する条例 (うるま市行政不服審査会の会議について定めるための条例改正)	〃	〃	〃
議案第 99 号	うるま市税条例等の一部を改正する条例 (地方税法改正に伴う条例改正)	〃	〃	〃
議案第 100 号	アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の特例に関する条例の一部を改正する条例 (地方税法及びうるま市税条例の改正に伴う条例改正)	〃	〃	〃
議案第 101 号	うるま市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例 (行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供のための条例改正)	〃	〃	〃
議案第 102 号	うるま市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 (介護保険法施行規則の改正に伴う条例改正)	〃	〃	〃
議案第 103 号	うるま市立学校用地取得及び学校施設整備基金条例の一部を改正する条例 (補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律に基づく財産の処分の承認申請手続に関する条例改正)	〃	〃	〃
議案第 104 号	うるま市健康福祉センター条例の一部を改正する条例 (施設名称及び基準額の一部見直しのための条例改正)	〃	〃	〃
議案第 105 号	スクールバス事故の損害賠償額を定め和解することについて	〃	9月4日	〃
議案第 106 号	平成30年度うるま市公共下水道石川終末処理場の建設工事委託に関する協定について (契約金額:224,250,000円)	〃	9月13日	〃
議案第 107 号	建物の処分について(旧与那城庁舎) (処分価格:250,560,000円)	〃	〃	〃
発議第 15 号	津堅島訓練場水域におけるパラシュート降下訓練の中止を求める意見書	喜屋武力議員 外9名	〃	〃
発議第 16 号	津堅島訓練場水域におけるパラシュート降下訓練の中止を求める抗議決議	〃	〃	〃
陳情第 74 号	社会福祉法人認可保育所の運営改善及び第2号認定児童主食費の補助についての陳情	うるま市法人 保育園連盟 会長 上原 東	〃	一部採択

平成30年10月第127回うるま市議会(臨時会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
選挙第 1 号	議長の選挙 (当選人:幸地政和)	議 長	10月20日	当 選
選挙第 2 号	副議長の選挙 (当選人:名嘉真宜徳)		〃	〃
報 告	常任委員会委員の選任について 企画総務委員会(8人) (委員長:中村正人、副委員長:伊盛サチ子、委員:仲本辰雄、藏根武、國場正剛、仲程孝、宮城一寿、平良榮順) 建設委員会(7人) (委員長:下門勝、副委員長:東浜光雄、委員:兼本光治、松田久男、宮里朝盛、名嘉真宜徳、伊波良明) 教育福祉委員会(7人) (委員長:大城直、副委員長:金城加奈栄、委員:喜屋武力、真栄城隆、幸喜勇、又吉法尚、伊波洋) 市民経済委員会(7人) (委員長:佐久田悟、副委員長:比嘉直人、委員:大屋政善、徳田政信、荻堂盛仁、国吉亮、天願久史)	議 長	〃	選 任
報 告	議会運営委員会委員の選任について (委員長:大屋政善、副委員長:仲程孝、委員:佐久田悟、下門勝、大城直、松田久男、中村正人、伊盛サチ子、名嘉真宜徳、東浜光雄、伊波良明)	〃	10月22日	〃
選挙第 3 号	中部北環境施設組合議会議員の選挙 (当選人:佐久田悟、兼本光治、中村正人、荻堂盛仁、宮城一寿)	〃	〃	当 選
選挙第 4 号	中部衛生施設組合議会議員の選挙 (当選人:喜屋武力、松田久男、仲程孝、名嘉真宜徳)	〃	〃	〃
選挙第 5 号	沖縄県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙 (当選人:藏根武)	〃	〃	〃
発議第 17 号	うるま市議会基地対策特別委員会の設置について	喜屋武力議員 外5人	〃	原案可決
報 告	うるま市議会基地対策特別委員会委員の選任について (委員長:又吉法尚、副委員長:藏根武、委員:仲本辰雄、喜屋武力、大城直、比嘉直人、荻堂盛仁、伊波洋、平良榮順、伊盛サチ子、天願久史)	議 長	〃	選 任
発議第 18 号	うるま市議会議会広報特別委員会の設置について	中村正人議員 外5人	〃	原案可決
報 告	うるま市議会議会広報特別委員会委員の選任について (委員長:真栄城隆、副委員長:宮里朝盛、委員:兼本光治、佐久田悟、幸喜勇、國場正剛、又吉法尚、国吉亮、伊波良明、金城加奈栄)	議 長	〃	選 任

## 平成30年9月定例会常任委員会の審査概要

委員会に付託された議案・請願・陳情について、各常任委員会が担当する内容を専門的に話し合い、委員会としての審査結果を本会議に報告します。

### 企画総務委員会

当委員会では、認定1件、議案9件、陳情（継続）6件を審査した。

主な内容として、「建物の処分（旧与那城庁舎）」について、「不動産鑑定はなぜ複数しなかったのか」との質疑に対し、「不動産鑑定士は、国家資格であり、1社でも問題ないと考えた。また市独自の積算も踏まえて価格決定した」との答弁があった。また、「借地権について」との質疑に対し、「借地借家法第23条第1項の特約を付した事業用定期借地権を設定する」との答弁があった。

審議の結果、認定案件は認定。議案は全て原案可決。陳情は全て継続審査となった。



跡利用に伴い売却される旧与那城庁舎

### 建設委員会

当委員会では、認定4件、議案13件を審査した。

主な議案の審査内容として「議案第106号 平成30年度うるま市公共下水道石川終末処理場の建設工事委託に関する協定について」は、委員から「協定内容について説明を」との質疑があり、当局より「本協定は、平成23年度策定のうるま市公共下水道長寿命化計画に基づいた、改築更新工事となっている。場所は、石川終末処理場の管理棟、汚泥消化棟、汚泥脱水棟の外壁改修や防水塗装工事、内部施設の電気、機械設備の更新工事等である。随意契約の理由については、石川終末処理場の長寿命化計画策定業務及び詳細設計業務を日本下水道事業団に委託してきた経緯と、専門的な知識、技術を有していることから、日本下水道事業団と随意契約に至ったものである。契約工期としては平成31年11月30日までとし、契約金額は2億2,425万円となっている」との答弁があった。

審査結果として、認定案件は全て認定し、議案は全て原案可決した。

### 教育福祉委員会

当委員会では、認定1件、議案10件、新規陳情1件、継続してきた陳情16件を審査した。

主な審査内容として「スクールバス事故の損害賠償額を定め和解することについて」は、「事故防止策や委託先への指導について」質疑があり、「作成した安全運転マニユアルを委託先に直接説明し配布した。また、市消防本部が実施する普通救命講習の受講を促しており、スクールバスの運転手は、9月以降に、普通救命講習を受講する予定である。それから、より安全に運行できるように4月から送迎ルートも変更した。今後、ドライブレコーダーを設置するなど、万が一、事故が起きた場合、責任の所在を客観的に把握できるようにしていく」との答弁があった。

審査結果として、認定案件は認定し、議案は全て原案可決した。陳情は新規陳情1件を一部採択し、継続してきた陳情は全て継続審査となった。

### 市民経済委員会

当委員会では、認定3件、議案4件、継続してきた陳情4件を審査した。

主な審査内容として「議案第104号うるま市健康福祉センター条例の一部を改正する条例」については、「1階にある展示コーナーはなくなるのか」との質疑があり、「10月中旬から展示コーナーは使用できなくなりますが、現在ある椅子や机は撤去せずにプールそばのラウンジに移動させるので、そこで使用できます」との答弁があった。

審査結果として、認定案件は全て認定し、議案は全て原案可決。継続してきた陳情は全て継続審査となった。



施設名称や基準額の一部見直しをした健康福祉センター「うるみん」



明辰雄  
おもとあきら  
公本辰雄

- 一 闘犬種などの管理及び通報体制について
- 二 “滋消式”消火法について
- 三 介護離職防止について
- 四 ひきこもり対策について

一 闘犬種などの管理及び通報体制について

質問 闘犬種が飼われている状況を把握するため、実態調査すべきでは。

答弁 当間市民部長 飼い主が軍人、軍属である場合、米軍関係機関に対して、基地の外で犬を飼うときの法令遵守と、危険犬飼養における厳格な管理について周知徹底を要請したい。

二 “滋消式”消火法について

質問 延焼阻止の目安となる指針では、現場到着から放水開始までの時間を2分としているが、本市は何か。

答弁 諸見里消防長 平均1分29秒。

質問 渋消は1分17秒。ホースの本数をふやすなどした。ホースの整備予算を増額すべきでは。

答弁 諸見里消防長 車両購入時に実施したい。

三 介護離職防止について

質問 仕事を続けながらも介護ができる「ながら介護」というシステムを開発し、広く市民に周知を図り、一人でも多くの介護離職者を出さないようにしていただきたいが。

答弁 上原福祉部長 介護離職の問題解決は、介護施設を整備しただけでは望めず、在宅支援の拡充・強化も必須。真つ先に相談に乗れる地域包括支援センターの相談機能の強化も必要。ケアマネージャーの知識・経験・力量等の資質向上が必要。介護保険サービス外の高

齢者福祉サービスの充実が必要。企業による介護休暇等の取得に係る制度整備、雇い手や職場の理解・協力も絶対に必要である。

四 ひきこもり対策について

質問 市就職生活支援パーソナルサポートセンターは、ひきこもり状態にある方にも相談対応を行っているが、相談件数を伺う。

答弁 上原福祉部長 15件。

質問 ひきこもり支援のニーズがあると感じた。就労体験の参加を促す訪問型就労準備支援事業に取り組んでいるか。

答弁 上原福祉部長 実施している。

質問 愛知県障害福祉課が実施したアンケート調査で、不登校歴がある52.7%が、ひきこもり状態になっていることがわかった。平成28年12月に成立した教育機会確保法に、国及び地方公共団体等に対して、不登校児童・生徒に対する適切な支援が、組織的かつ継続的に行われることを義務づけているが、全ての教育のベースになるのは家庭教育であると感じている。不登校対策に寄与する家庭教育支援条例を制定すべきでは。

答弁 盛小根指導部長 条例制定については、不登校対策の貴重な提言と受けとめ、県の動向等を踏まえながら研究したい。



無所属  
とつぎ  
たまえ  
玉榮 登次

- 一 ブロック塀等の耐震対策について
- 二 畜産業への支援について
- 三 部活動支援について

一 ブロック塀等の耐震対策について

質問 本市における学校のブロック塀等の安全点検調査の結果及び安全対策の実施状況を伺う。

答弁 宮城教育部長 目視で現状調査を実施。特に危険と思われる塀については改修の予定。時間を要する箇所は看板設置等で注意を促している。

質問 倒壊のおそれのある塀は生活道路や住宅地等にも多く存在する。市内住宅に対しブロック塀等の安全点検調査等は実施されているのか。

答弁 目取真都市建設部参事 国土交通省のチェックリストを活用した自主点検や専門家に依頼した安全点検の実施をホームページに掲載し注意喚起を行った。

質問 うるま市は内閣府指定の南海トラフ地震防災対策推進地域に含まれている。他自治体の事例に倣い、災害対策に関する意識向上を図るべきでは。

答弁 目取真都市建設部参事 国の支援制度、県や他行政庁の動向等を注視し、今後の方針を検討したい。

二 畜産業への支援について

質問 豚肉生産量が増加傾向にある一方、市内生産農家からは高齢化、人手不足による経営継続の困難性の意見が上がっている。行政主体の生産現場のサポートが重要だと考えるが。

答弁 佐久川経済部長 本市では独立・自営就農者を育成・確保する目的

で、平成24年度から青年就農給付金事業や農業次世代人材投資事業を実施している。

質問 養豚現場の声として、悪臭など環境問題を憂慮する意見もあり心理的負担となっているとのことだが、畜産環境問題に対してどのように取り組むのか。

答弁 佐久川経済部長 畜産環境改善指導事業として悪臭緩和剤等購入費の補助を実施。また、清掃状況・飼育環境・浄化槽の稼働状況の確認や畜舎・堆肥舎等の管理徹底を指導している。

三 部活動支援について

質問 教育政策の一環として市内小・中学校における部活動支援に積極的に協力していただきたい。その取り組み内容を伺う。

答弁 盛小根指導部長 大会派遣費用の一部助成や激励の懸垂幕を市役所に掲示するなど、生徒の活躍を後押ししている。さらに、破損、老朽化した施設・備品の修繕など環境の充実に努めている。

質問 監督・顧問の先生方や父兄の方々が部活動に励みややすい環境づくりも重要。今後のサポート体制を伺う。

答弁 盛小根指導部長 円滑な部活動運営が図られるよう学校と連携したい。また、部活動休養日の設定を指導し、バランスの取れた生活をサポートしたい。



新政クラブ  
にしよ かつお 男  
西野 一

「今まで行った一般質問を選定し、総括として執行部がどのように検討されたかについて

一 「今まで行った一般質問を選定し、総括として執行部がどのように検討されたかについて

質問 南原漁港について、平成32年度を目標に整備したいとの答弁だが、県との調整は。

答弁 佐久川経済部長 沖縄県漁港漁場課と平成32年度採択に向け協議を進めたい。

質問 津堅島の島おこし支援事業について、沖縄県離島体験交流促進事業を活用した民泊事業で、津堅住民の申請手続の負担軽減に取り組むとあるが、その後は。

答弁 天願企画部長 津堅自治会や住民同士の連携を図り、平成28年度から開始された離島観光・交流促進事業の受け入れにもつながっている。

質問 キャロット愛ランド公園の改修について、現状の悲惨さを訴えたが、今後の改修は。

答弁 島袋都市建設部長 当面は維持管理費に対応したい。大規模な工事箇所は別途検討する。

質問 津堅島小型焼却炉について、運用開始はいつ頃になるのか。

答弁 当間市民部長 7月に試験運転を完了しており、現在運転管理や燃料供給等の発注準備を進めている。

質問 平敷屋地内道路新設について、可能な道路新設は地権者の了解が得られると思うが調査できないか。

答弁 目取真都市建設部参事 現在排水路整備に向けた調査設計を実施している。地権者との同意等、自治会と連携しながら進めたい。

質問 子供の貧困問題について、直近の

子供貧困率は。

答弁 上門こども部長 県の報告では相対的貧困率は29.9%。本市における対策は、第2次うるま市総合計画で位置づけられており、事業を推進したい。

質問 市民所得の向上について、県内でも下位にある市民所得向上の対策は。

答弁 佐久川経済部長 企業誘致や雇用創出事業等の経済振興施策の効果・検証を行い、経済活動の活性化に取り組んでいる。

質問 うるま市の経済構造(産業構造)について、経済構造振興策をどのように考えているのか。

答弁 佐久川経済部長 特に第三次産業を拡大するために産業間による6次産業化をうるまルシェを拠点に推進していく。

質問 救急安心センター事業の積極的導入の経過について伺う。

答弁 諸見里消防長 総務省消防庁からのアドバイザー制度の活用に向けて調査・研究したい。

質問 うるま市の基金運用について、自主財源の増加と依存財源の減少により基金運用についてどう検討されたか。

答弁 天願企画部長 証券会社や債券発行団体等による勉強会等を行い「公金保護及び指定金融機関等に関する課題検討委員会」で運用方針が決定された。

質問 スポーツ産業の創出について、行政事業としてどのようにかわるのか。

答弁 佐久川経済部長 市内の体育施設の指定管理者制度の導入で行政と民間が一体となり全国規模の大会誘致等に積極的取り組みたい。



いぶきの会  
きんじょう かつまさ  
金城 勝正

一 市立真志川小学校裏門通学路の歩道設置及び校舎改修工事に関する事項について  
二 県道37号線(屋慶名大通り)、県道239号線拡幅工事に関する事項について  
三 農用地転用許可等に係る自治体への権限移譲に関する事項について  
四 うるま市水産業振興に関する事項について

一 市立真志川小学校裏門通学路の歩道設置及び校舎改修工事に関する事項について

質問 市道2-75号線からアカザンガーまでの間の歩道設置について伺う。

答弁 目取真都市建設部参事 街路事業による対応だけではなく、社会資本整備総合交付金事業のメニューにある通学路の安全対策事業の活用により、安全対策が図れないかなどについても検討したい。

質問 具志川小学校校舎の改築工事の時期と計画について伺う。

答弁 宮城教育部長 耐震補強工事とあわせて大規模改修を実施する予定をしており、早期の事業着手に向けて関係部署と協議したい。

二 県道37号線(屋慶名大通り)、県道239号線拡幅工事に関する事項について

質問 今年度の工事計画のおくれは、次年度の計画に影響があるか。

答弁 目取真都市建設部参事 当該工事のおくれによる次年度工事への影響については、現在のところ問題がないと伺っている。次年度の計画については、屋慶名橋のかけかえ工事を予定しているとのこと。

三 農用地転用許可等に係る自治体への権限移譲に関する事項について

質問 事務量の増加に比例した職員体制の強化を図ることで、増大する市

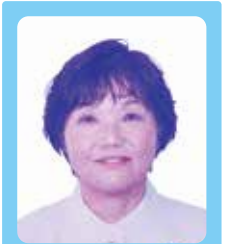
民ニーズに応えていただきたいと考えるが。

答弁 野島農業委員会事務局長 近年の農地転用許可申請に係る事務量の増加からみると、農地法及び関連法に対する知識を相当有する職員の配置が必須である。今後、関係部局と協議を図り、農業委員会事務局の職員体制について、協議を重ねていきたい。

四 うるま市水産業振興に関する事項について

質問 「沖に出れば板子一枚下は地獄」という厳しい職場環境の上、天候に左右され、陸上のように何日働けるかさえわからない水産業は、国、県、地方自治体がさらなる手厚い支援策に転換する必要がある。市当局が骨を折り、間に入って調整するような支援体制が構築できなければ、うるま市に限らず沖縄県の水産業の未来は衰退の一途をたどるのではないかと危惧する。市内各漁港の現状と課題等も含め、広く水産業全体を見渡した見解について伺う。

答弁 佐久川経済部長 当面は漁業者の減少が続くものと考えられ、持続可能な水産業づくりを進めていくため、うるま市の地域ブランド化の形成と販路拡大、漁業の担い手の確保及び育成を進め、経営安定や所得向上を図る必要がある。老朽化が進む施設も多くあることから、漁港施設機能保全整備を図る必要がある。



日本共産党  
いもり 伊盛子

- 一 教育環境について
- 二 保育行政について
- 三 基地行政について

一 教育環境について

**質問** 大阪北部地震で女子児童が倒壊したブロック塀の下敷きになり、犠牲になるなどブロック塀の撤去や安全性の確保が課題となっている。危険なブロック塀の総点検、安全対策について伺う。

**答弁** 仲本総務部長 倒壊事故を受け、各課が管理する公共建築物等のブロック塀、擁壁の倒壊のおそれの有無について早急に調査を依頼。市長部局や報告のあった各部局長には今後の修繕、改修工事等について予算確保や改修期間等も含め、協議の上各課において補正予算で対応に係る経費が計上されている。

二 保育行政について

**質問** 6月定例会の答弁で、社会福祉法人で定める定款の内容を記載することが義務づけられているとのことだが、本土の募集要項では、入札に参加する必要な資格として、法人の役員が特別の利害関係を有する業者でないものとしているところもある。利害関係の事前確認は。

**答弁** 上門こども部長 法を遵守した対応と認識しているが、入札の透明性、公平性を確保するなど、利害関係が明確にないことが示された議事録の提出を求めるなどの対応を検討したい。

**質問** 法人の役員名簿受注業者役員名簿の提出をもって明確に利害関係がないという証明ができるかと考えるが。

答弁 上門こども部長

理事会での議決時に利害関係者の有無の確認、利害関係者がいる場合には、理由を明確に記載した議事録等の提出を求める対応を検討していく。

**質問** 法人保育所の建設に関して自己申告を求めるべきと考えるが。

**答弁** 上門こども部長 議事録を確認し、必要な資料提供を求めたい。

三 基地行政について

**質問** 県内25市町村への今回の通知は、CV-22オスプレイ機の沖縄の訓練場を使用すると沖縄県に説明している経緯もある。沖縄への飛行と訓練に反対姿勢を表明すべきでは。

**答弁** 天願企画部長 横田基地への配備のみの通知で、具体的な運用や訓練等は関知していない。今後市に影響があるか注視したい。

**質問** 沖縄市、嘉手納町、北谷町の3連協は運用の反対を表明している。市として反対の表明をすべきと考えるが、市長の見解を伺う。

**答弁** 島袋市長 基本姿勢は基地の整理縮小。過度な基地負担は軽減すべきとの考えである。今後とも基本姿勢に基づいて、さまざまな立場からあらゆる機会を通し訴えたい。

※その他「斜面の整備について」質問しました。



いぶきの会  
ひがしはま みつお 東浜光雄

- 一 津堅島キャロット愛ランドの整備について
- 二 勝連南風原遊水池の環境整備について
- 三 東海岸開発基本計画(敷地島の開発)の進捗状況について
- 四 災害時要支援者の支援体制について
- 五 世界遺産勝連城跡周辺の環境整備について

一 津堅島キャロット愛ランドの整備について

**質問** 津堅島キャロット愛ランドは経年劣化により施設の機能を失っている。早急に施設機能を回復するため整備が必要だと考えるが。

**答弁** 島袋都市建設部長 施設の完全な機能回復には大規模な改修工事が必要と考える。今後、施設の構造や配置の見直しを含め、補助事業や辺地対策事業債の活用について、関係部署と調整を図り進めていきたい。

二 勝連南風原遊水池の環境整備について

**質問** 勝連南風原遊水池の実効性ある環境改善を図るには、年次的に必要な対策ではなく、土砂の一斉しゅんせつを含めた抜本的な対応が求められると考えるが。

**答弁** 佐久川経済部長 限られた維持管理予算で対応するのは困難である。利用状況や危険度、緊急性などを考慮し対応している。今後も状況を注視し、年次的に環境改善に取り組む。

三 東海岸開発基本計画(敷地島の開発)の進捗状況について

**質問** 敷地島の筆界未定地の問題は、個々の地権者間で協議し、解決すべき事項とのことだが、地権者の中には、解決に前向きな方もいる。屋慶名自治会へのアプローチ(地主会等の設置)だけでなく、地権者をまとめていくこともすべきだと思ふ。自治会と地権

者、市が一緒になって解決に向けて相談する必要があると思ふが。

答弁 天願企画部長

筆界未定地の解決は、個人の協力が必要な部分がある。自治会と協力し、前向きな地権者に関して協力していきたい。

**四 災害時要支援者の支援体制について**

**質問** 避難行動要支援者にきめ細かな支援を行うために、防災カルテの作成、地域サポーター制度の検討・実施、個別支援計画の作成、支援体制の構築について、提案をしてきたが、その対応と取り組みについて伺う。

**答弁** 上原福祉部長 要支援者の登録は、要援護者システムで対応している。地域サポーター制度の検討・実施は、社会福祉協議会の小地域ネットワーク近隣見守り援助体制づくり事業で活動している。個別計画の作成は途中であるが、本市においても重要と考え、引き続き避難行動要支援者の個別計画作成に向けて働きかけていく。

五 世界遺産勝連城跡周辺の環境整備について

**質問** 勝連城跡周辺の碎石場の移転交渉が進んでいないと思われるが、現状を伺う。

**答弁** 島袋都市建設部長 都市公園整備に必要な都市計画決定を平成30年度中に行い、31年度に物件調査、32年度に移転補償契約を締結し、移転する計画である。





おおしろ 大城直  
なほし

- 一 基地問題について
- 二 観光事業について(観光資源海道路)
- 三 教育行政について
- 四 公共施設の管理について
- 五 企業立地と誘致について

一 基地問題について

質問 ホワイト・ビーチ地区への入域許可時間を伺う。

答弁 天願企画部長 入域許可時間は午前9時から午後5時まで。キャンプ・コートニー等、他の施設も同じ時間となっている。

質問 告別式等でお墓の掃除をしに入ろうとしたが、入域ができなかった事例がある。今後、入域緩和の要請ができるか伺う。

答弁 天願企画部長 告別式等の祭事に急な入域が必要となった場合、可能な限り地域の皆様がスムーズに基地内に立ち入りができるよう関係部局と連携を図りたい。



平敷屋公園からみたホワイト・ビーチ

二 観光事業について(観光資源海道路)

質問 海道路路エリアでマリンスポーツイベントの開催状況を伺う。

答弁 佐久川経済部長 現在、海道路エリアでのマリンスポーツイベントは、観光分野での市の主催・共催では開催していない。

質問 近い将来、開催可能なイベント等の計画を伺う。

答弁 佐久川経済部長 市が主催するイベントの計画は予定していないが、経済波及効果の高いイベント誘致の可能性を検討し、観光客の誘客等に積極的に対応したい。

質問 海道路の観光資源として、マリン船の活用について伺う。

答弁 宮城教育部長 マーラン船を海の文化資料館に展示し、学校教育や生涯学習の教材、観光客に見学していただく等、大きな成果があると考えている。

質問 海道路ライトアップ事業を活用したイベントについて伺う。

答弁 佐久川経済部長 ライトアップの景観を生かした新規事業の創設を検討し、効果的に観光誘客に取り組みたい。

三 教育行政について

質問 コミュニティー・スクールに関してどのような取り組みをするのか、教育長の意気込みを伺う。

答弁 嘉手苧教育長 各学校の学校運営協議会が有意義に運営されるよう指導・助言し、他の部署とも連携、協働し、市民協働学校を推進していく。

四 公共施設の管理について

質問 市民公園等の草刈りや清掃が間に合っていないのでは。

答弁 島袋都市建設部長 維持管理課や生涯スポーツ課シルバー人材センターへの委託や市現業職員で維持・管理を行っているが、今後は公園等里親制度を活用した団体へ管理を移行したい。

五 企業立地と誘致について

質問 中城湾港新港地区への立地の実績について伺う。

答弁 佐久川経済部長 うるま市の中城湾港新港地区には、製造業や情報通信関連の企業を中心に平成30年5月現在で238社の企業が立地している。



いぶきの会  
おぎどう 荻盛仁  
せいじん

- 一 大河ドラマを活用しての勝連城跡のアピールについて
- 二 建築確認について
- 三 保育行政について
- 四 教育再生首長会議について

一 大河ドラマを活用しての勝連城跡のアピールについて

質問 勝連城跡のアピールはどのようになっているか。

答弁 佐久川経済部長 SNS等を中心としたネット活用や観光雑誌への掲載など、あらゆる媒体を活用し、効果的なPRを積極的に行っていく。

質問 勝連城主の阿麻和利をドラマ化し、勝連城跡をアピールできるようなNHKに働きかけられないか。

答弁 佐久川経済部長 市としても大河ドラマの誘致の現状と可能性について調査し、地域や関係者の皆様の意見も拝聴しながら検討したい。



世界遺産勝連城跡

二 建築確認について

質問 4年前に違法性の可能性が指摘された建築物が名義人をかえて営業を継続していることについて当局の見解を伺う。

答弁 目取真都市建設部参事 廃業後の建築物の状況について、市が注意をもって経過を観察し、建築物の使用が確認された場合は、改めて市から行動を起こす必要があったと考える。

質問 営業中のレストランの件についての対応を伺う。

答弁 目取真都市建設部参事 前回

と同様に建築基準法第12条第5項の規定に基づく報告を求めることとなる。法に不適合な部分がある場合については、適合に向けた是正措置を講じるよう指導することになる。

三 保育行政について

質問 本市の保育園への入所状況について伺う。

答弁 上門こども部長 今年度の申し込み件数は前年度より406人多い4,462人。そのうち入所児童数は前年度の3,622人に比べ、426人多い4,048人となっている。

質問 育児休業を延長することに対して、政府が対策を検討するようであるが、当局の見解について伺う。

答弁 上門こども部長 市としては、国が示すように、育児休業給付金の受給のため、入所申し込みをするケースが増加することは、待機児童数の正確な把握にも影響がでると思われる。今後、国の動向等を注視し、県や他自治体と連携し、対応を検討していく。

四 教育再生首長会議について

質問 教育再生首長会議とは。また、本市の市長の参加については。

答弁 天願企画部長 教育再生首長会議は、教育再生を掲げ、2014年に発足した任意の団体であると把握。本市は同会議には参加していない。



いぶきの会  
なかほど かし  
仲 程 孝

一 米原地区排水路整備事業について

質問 現在までの進捗状況を伺う。

答弁 島袋都市建設部長 平成29年度末までに実施設計が完了。執行率は17.1%である。

質問 今後の具体的な年次計画を伺う。

答弁 島袋都市建設部長 平成31年度が用地買収、物件等補償、平成32年度に工事着手、平成32年度内に完了予定である。

二 市道江洲4-45号線への側溝ふた掛けについて

質問 宅地開発が進み通行車両が増加し、市道の交通状況も変化している。当該市道沿い側溝へのふたがけ整備について当局の見解を伺う。

答弁 島袋都市建設部長 幅員確保のための方策について、側溝の改修も含めて検討していきたい。

三 米原地域への信号機設置について

質問 兼箇段高江洲線整備事業が完了しなければ、車両用信号機は設置できないのか。

答弁 当間市民部長 新たな車両用信号機は整備事業完了と同時に整備されるものと認識している。

質問 特殊な交差点として交通安全に関連する注意喚起看板を設置するなど、交差点の安全確保に早急に取り組むべきと考えるが。

答弁 当間市民部長 赤道小学校への通学路でもあることから、子供た

一 米原地区排水路整備事業について  
二 市道江洲4-45号線への側溝ふた掛けについて

三 米原地域への信号機設置について  
四 新赤道西側排水路管理について

五 赤道幼稚園における3歳児クラスについて

ちの安全をさらに確保するためにも、自治会と連携し注意喚起を促す看板等の設置を検討したい。

四 新赤道西側排水路管理について

質問 底部分と隣接する住居とは高低差もあり、脚立を使用している危険な作業も伴う。当該排水路について定期的な点検等、細やかな対応ができないか。

答弁 島袋都市建設部長 自治会の要請や情報提供により、緊急性や危険性の優先順位を考慮し、維持管理に努めたい。

五 赤道幼稚園における3歳児クラスについて

質問 なぜ他の公立幼稚園に先んじて、赤道幼稚園に3歳児クラス運営が行われることになったのか。その要因と経緯について伺う。

答弁 盛小根指導部長 具志川中学校区における教育のニーズが高い傾向にあり、教室数の確保が可能であり、3年間の幼児教育を行うための人的要因も鑑み、赤道幼稚園での3歳児保育の実施を決定している。

質問 次年度以降、赤道幼稚園の今後の考え方について伺う。

答弁 上門こども部長 現在整備計画中であるが、地域の児童の状況を勘案し、今後、受け入れ児童数や認定こども園への移行時期等を検討したい。その際には、地域や保護者等への説明会を開催し、周知を図る。



あつこ  
ひが 明 敦 子

一 防犯対策と周知について

質問 SNSを持たない皆さんへの周知と学校現場でのじんじんメールの取り組み状況を伺う。

答弁 当間市民部長 地域自治会等で行う放送、本市の防災行政無線等で行う伝達で情報を得ている。

質問 盛小根指導部長 学校行事や部活動、自然災害等、不審者情報もじんじんメールを活用している。

質問 期日前投票増設の要因は。

答弁 屋良選挙管理委員会事務局長 期日前投票に対する有権者のニーズの高まりや、投票率の上昇傾向等から検討し、石川出張所、勝連シビックセンターに増設する。

三 勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業について

質問 ①事業の進捗状況。②琉球碎石の移転。③史跡ガイドの役割。④今後のスケジュールについて伺う。

答弁 島袋都市建設部長 ①平成30年度事業費を加えると30.6%。②平成32年の移転を目指す。③史跡ガイドの役割はより一層重要なものとなる。④今後のスケジュールは平成34年度に供用予定。

四 めちまーす工場の出入り口の拡張について

質問 ①年間の来訪者数と現状の把握。②一括交付金で拡張できないか。

答弁 佐久川経済部長 ①平成29年度14万7,699人。道路幅員が狭く片側

一 防犯対策と周知について  
二 期日前投票について  
三 勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業について  
四 めちまーす工場の出入り口の拡張について  
五 もやせないごみ袋への作成について  
六 通学路の安全対策について  
七 幼稚園送迎バスの運行について  
八 小学校吹奏楽環境整備事業について

交互通行で対処。②補助金制度の検討や他事例等の調査研究を考えている。

五 もやせないごみ袋への作成について

質問 進捗状況について伺う。

答弁 当間市民部長 品目の制限、重量の制限、パッカー車の故障を考慮しての制限。複数の制限を設けている市もあり、再度調査する。

六 通学路の安全対策について

質問 夏休みの安全点検と取り組み状況について伺う。

答弁 盛小根指導部長 今年度小学校54カ所、中学校24カ所の改善要請がある。予算を伴う事業であり、関係部局と連携を図り取り組む。

七 幼稚園送迎バスの運行について

質問 与那城幼稚園の送迎バスの老朽化について伺う。

答弁 盛小根指導部長 幼児の安全を確保するため早急に関係機関と協議する。

八 小学校吹奏楽環境整備事業について

質問 小学校吹奏楽環境整備の概要の説明について伺う。

答弁 盛小根指導部長 児童の音楽に対する興味と表現力を育み、音楽を通じた人材育成を図る。事業費は沖縄振興特別推進市町村交付金を活用。

質問 小学校名と購入予定楽器について伺う。

答弁 盛小根指導部長 伊波与那城・田場・高江洲・中原・赤道小学校の6校で、一校当たり約250万円程度の購入額となっている。



希望 宮城 一寿 (みやぎ かのう)

- 一 クルーズ船観光誘致について
- 二 津堅島に関して
- 三 宮城島池味漁港内の施設建設について
- 四 4島の学校統廃合について
- 五 (仮称)島嶼地域会館の建設について

**質問** 会派「希望」は、行政視察で舞鶴市のクルーズ船観光の取り組みを学んだ。中城湾港から県内観光客を乗せたクルーズ船観光の取り組みを伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 県民のクルーズ船利用状況を把握して、可能性の検討を行う。

**一 津堅島に関して**

**質問** 小型焼却炉稼働について、ごも議会において津堅中学選出議員が島の環境問題に関心を示していた。そこで現状の稼働状況について伺う。

**答弁** 当間市民部長 10月からの稼働で運転管理は津堅自治会へ委託する。

**質問** 島内通学路(側溝)の安全対策について伺う。

**答弁** 島袋都市建設部長 当面は、注意喚起のポストコーンを設置し、どのような安全対策が可能か検討する。

**質問** 島内放送について、市管理防災アナウンスが聞き取りにくいとの意見が島民からありますが、スピーカーの調節や位置調整が可能か。

**答弁** 天願企画部長 平成30年度より無線のデジタル化で、スピーカー調整及び増設を予定。

**三 宮城島池味漁港内の施設建設について**

**質問** 施設占用許可は個人、企業には許可していないか。

**答弁** 佐久川経済部長 市は企業や漁業者個人ではなく、漁業協同組合に許可を認めている。

**質問** 占用許可を得ていない箇所に

もいろいろなものが置かれ、他の漁業者に不利益を与えている。その対応を伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 議員御指摘の漁業活動に直接関連しない占用物は与那城町漁業協同組合と調査し、占用者に撤去指導する。

**質問** 池味漁港は公共施設であり、漁民が公平・公正に使用されるべき。漁民が不満を持っている。行政側の指導も必要では。

**答弁** 佐久川経済部長 議員の御指摘で、管理のあり方について適切に対応する。

**四 4島の学校統廃合について**

**質問** 統廃合の金額メリットを伺う。

**答弁** 盛小根指導部長 年件費で年間約780万円、光熱費で年間約862万円、合計約1,642万円程度削減されていると推測される。

**五 (仮称)島嶼地域会館の建設について**

**質問** 島嶼地域会館の安慶名地区周辺への建設について、「島の未来の物語」の提言にもあり、島嶼地域出身者や、津堅島の学生・父兄が泊まれる設備を備えた会館が必要である。行政の取り組みを伺う。

**答弁** 天願企画部長 新たな施設建設は厳しい。

**質問** 大変厳しい答弁ですが、石油貯蔵施設立地対策等交付金などの活用を検討すべきでは。

**答弁** 天願企画部長 市の公共施設総量の抑制・圧縮を検討中で、新しい施設建設は厳しい。



希望 徳宜 嘉真 (みやぎ のりよし)

- 一 石川会館のC型コンソートの取りかえ工事について
- 二 うるま市民芸術劇場、うるま生涯学習・文化振興センター舞台技術操作業務委託について
- 三 教職員の働き方の改善について

**質問** 入札の内容と12社中11社が辞退した理由を伺う。

**答弁** 宮城教育部長 漏電を起こす可能性の高いT型コンソートからC型コンソートに取りかえる工事。12社中11社が辞退し、入札は不調となった。辞退の理由は把握していない。

**質問** 予定価格の設定について伺う。

**答弁** 宮城教育部長 関係業者からの見積り等を徴収して設定している。

**質問** 予定価格の設定等で安価過ぎるかどうかが確かめないのか。

**答弁** 宮城教育部長 特に検証等はない。

**二 うるま市民芸術劇場、うるま生涯学習・文化振興センター舞台技術操作業務委託について**

**質問** 入札方式から随意契約に改める際、相当の議論がなされるべき。誰が発案し、誰が決めたのかとの質問に、「自然発生的に生まれた」と答弁している。会議内容を伺う。

**答弁** 宮城教育部長 従来の入札方式とプロポーザル方式による業者の選定について関係課長で議論した。また、市内業者に限定してプロポーザル方式で発注した。

**質問** 市内5社を指名した理由を伺う。

**答弁** 宮城教育部長 市内業者に対して公平に機会を与えるため、この5社を指名した。

**質問** 指名業者には従業員ゼロと従業員3人の会社がある。答弁にある「高い芸術性、技術力、組織力のある会社」に受注してもらうためにプロポーザル方式にしたとの整合性がないのでは。

**答弁** 宮城教育部長 指摘の点については、我々も反省している。市内業者を優先して発注したいという思いから指名した。

**質問** これを見直さないと市内の零細業者はなくなる。見直すつもりがあるか伺う。

**答弁** 宮城教育部長 今後、関係部署と協議し見直すべきところは見直したい。

**三 教職員の働き方の改善について**

**質問** 出・退勤時間のタイムカード導入について伺う。

**答弁** 盛小根指導部長 公立の小・中学校の教職員も、労働基準法第32条等が適用される。各学校の管理職は勤務時間を適切に把握及び管理する必要がある。全ての教職員の勤務状況を把握することを目指す。昨年度からICカードを活用したシステムを導入した。

**質問** このデータの活用について伺う。

**答弁** 盛小根指導部長 教職員の繁忙状況等を把握し、勤務時間を意識した働き方について指導・助言を行い、教職員の働き方や心身の健康に対する意識の醸成を図っている。教職員が子供と向き合い、教育活動に専念できるための支援体制の構築及び充実に努める。



日本共産党  
きんじょう かなえ  
金城 加奈栄

- 一 観光行政について
- 二 市民行政について
- 三 福祉行政について
- 四 雇用について

一 観光行政について

**質問** 津堅島に観光・海水浴で訪れる海外からの家族連れの来客者がビーチへのルートやタクシーはないのかと、尋ねることが見受けられる。巡回バスを配置できないか。

**答弁** 佐久川経済部長 津堅島は唯一の離島であり、自然や独特な文化が残る豊かな島である。観光振興において現在公共交通はなく、移動者の現状等を把握し、観光シーズンにおける移動手段の導入について検討したい。

**質問** 来客者等へのアンケートなど、改善・調査・把握が必要だと思ふ。見解を伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 費用対効果について、調査・検討をしたい。

二 市民行政について

**質問** うるま市くらしの便利帳2017年度版が発行されているが、制度改正等への対応について伺う。

**答弁** 天願企画部長 平成29年2月に市庁舎の統合、組織機構改編等があり、うるま市くらしの便利帳を作成し全世帯へ配布した。官民共同事業で市が作成し、発行する業者が企業広告を募り、その広告収入で経費を賄っているため、短いサイクルでの発刊は厳しい。法改正等の変更については、市ホームページや広報紙等で対応可能と考へる。

三 福祉行政について

**質問** 地域支援ホーム津堅いこいの家の施設拡張について伺う。

**答弁** 上原福祉部長 住み慣れた地域で生活ができる。安心して介護を受けられる当該施設の意義は大変大きいものであり、十分認識している。利用者及び利用待機者が増加し、施設の機能等に支障が生じるおそれがある場合、法令等の定めを遵守しつつ、関係団体、関係機関、財政当局等と慎重に協議し、対応を検討したい。

四 雇用について

**質問** 日本共産党が行ったアンケートの回答で、現在の暮らしは以前と比べ変わらない。悪くなったとの市民の声が上がっている。男女の賃金では50万円余り差があり、労働基準法第4条において性別で差別してはならないと規定されている。沖縄県の最低賃金が10月から762円と改正されるが、全国的には沖縄県含め九州地域では、低い基準となっている。最低賃金を1,000円に引き上げについて、市の見解を伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 最低賃金の引き上げは企業活用への影響も少なくなく、雇用維持や新規採用が厳しくなることも考えられる。本市としましては、企業への影響等も考慮し、国の動向を注視したい。



新政クラブ  
しもじょう まさる  
下門 勝

- 一 与那城一号线等の改良について
- 二 障害者等の健康管理(診断)等について

一 与那城一号线等の改良について

**質問** 同道路地下を排水路が横断し侵食や石積の劣化等で度々陥没する。また、道路と排水面の高低差が数メートルあり早急な転落防止柵の整備が必要と考えるが。

**答弁** 島袋都市建設部長 原因を調査し補修をし、当面は排水路まで誘導する工事に対応する。また、ガードレールの設置基準を超えた箇所は次年度の交通安全特別交付金を活用しガードレールを設置します。

二 障害者等の健康管理(診断)等について

**質問** 本市では、第2次健康うるま21が策定されておりますが、障害者など弱者への健康に関する計画はどうなっているのか。また、本市では障害者虐待防止法や障害者差別解消法といった関連法と、障害者を取り巻く近年の社会情勢を踏まえながら、市の現在の体制、課題を確認し、障害者が自立した地域生活を送れる支援環境について対策を掲げるため計画の策定が行われている。健康維持や生活習慣病などを含めた予防対策についてどのような取り組みが計画されているのか伺う。

**答弁** 当間市民部長 全市民を対象とした計画であり、障害者に特化した健康増進計画は定めていない。

**質問** 知的や精神障害者の人数と、検診等の通知方法、受診率を伺う。

**答弁** 上原福祉部長 知的障害者(児)

1,272人、精神障害者1,985人である。

**答弁** 当間市民部長 健常者、障害者の区別はせず、生活習慣病予防健診及び特定健診、各種癌健診の受診勧奨を封書やはがき等で実施している。受診率については把握していない。

**質問** 特に施設入所者へは、厚労省告示により特定健診の通知が行き届きにくい場合があるが状況を伺う。また、障害者等自力で検診を受けることが困難な方々の受診率向上対策も伺う。

**答弁** 当間市民部長 施設入所障害者へは、厚労省告示により特定健診の対象者から省くことができる。とされ、本市も施設入所者への受診勧奨は控えている。区別せず受診勧奨は行っているが障害者に対する受診勧奨が不十分であることから、その方法を検討したい。

**質問** 障害者差別解消法を鑑み、合理的配慮がなされ、障害者の健康維持対策が確実に実施されるべきであるが、所見を伺う。

**答弁** 当間市民部長 障がい福祉課や相談支援専門員などの支援者と連携を図り、更には入所施設管理者と協議を行い健診受診率向上を図る。

※その他、「比良農道(ワイトウイ)整備について」外4件について質問しました。



かけはし お 男  
ひさ 久  
まつ だ  
松 田

一 中城湾港の活用・発展策について  
二 県道255線石川橋付近の交通渋滞の改善策について

一 中城湾港の活用・発展策について

**質問** かけはし会派で内閣府に東埠頭の整備について要請に行ったが実績がなければできないとの返答であった。現在実証実験として試験的な航路があるがその内容について伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 29年度から実証実験を実施している。航海数は18回で貨物量は7,712トンである。

**質問** 中城湾港内の事業者で那覇から出荷している数量はいくらか。

**答弁** 佐久川経済部長 データが無く把握していない。

**質問** 企業をこちらに引き寄せるためにも把握する必要がある。埠頭の整備について見直しを伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 岸壁の延長不足のため非効率的な作業を強いられている。岸壁の整備が急務と考えている。管理者の県に働きかけたい。

**質問** 埠頭を45m延長すればローロー船が船の前後の出入り口を使える長さになる。早期に整備できる可能性が十分にある。現在の交渉の状況を伺う。



上空から見た中城湾港

**答弁** 佐久川経済部長 喫緊に解決すべき課題で、企業関係者に対してヒアリングを実施し粘り強く要請したい。

質問 埋立ての将来構想があるがもつと浅い部分で面積を小さくして伸ばす案も提案した。執行部の感触を伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 検討したい。

**質問** 今後の支援策を伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 航路の活用に助成を行っている。物流モデル構築に向けた実証事業を行う。

二 県道255線石川橋付近の交通渋滞の改善策について

**質問** ここ数年非常に悪化している。国道の渋滞緩和策としてバイパスをつくったが、県道と市道が被害を受けている。改善策について伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 銀座通りから国道バイパスへ抜けるルートの周知を図る。また、策定中のうるま市交通基本計画において検討したい。

**質問** 交通基本計画の具体的イメージはどのようなものか。

**答弁** 目取真都市建設部参事 通過交通と地域内交通の分離や幹線道路路網について検討したい。

**質問** 旧石川橋を通過してUターンする車が増加。通学路の安全対策を伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 旧石川橋は歩道もなく幅員も狭く児童の通行時には危険である。中部地域渋滞対策ワーキンググループ会議で改善について提案したい。



いぶきの会  
みやざと ちようせい  
宮 里 朝 盛

一 障害者雇用率とうるま市の状況について  
二 障害者雇用率とうるま市の状況について  
三 障害者雇用率とうるま市の状況について  
四 認定こども園化する公立幼稚園について  
五 認定こども園の導入で老朽化している公立幼稚園の移行はどうか

一 障害者雇用率とうるま市の状況について

**質問** 障害者雇用率とうるま市の状況について伺う。

**答弁** 中本総務部長 全ての事業主には法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務があり、平成30年4月1日以降から2.3%から2.5%となった。任命権者ごとに職員数が40人以上で算定する。本庁部局は6月現在3.32%、教育委員会が3.42%。いずれも法定雇用率を達成。昨年は身体障害者を対象に市職員候補者試験を実施。本年度は、4月に2人の採用。今年9月実施予定の市職員採用試験に身体障害者を対象に試験を実施予定である。

二 在沖米軍に適用される環境管理基準とは

**質問** 在沖米軍に適用される環境管理基準とは。

**答弁** 当間市民部長 在日米軍による環境保護及び安全のための取り組みは、在日米軍が作成する日本環境管理基準に従って行われる。

三 うるま市の基地で環境管理基準違反等の状況について

**質問** うるま市の基地で環境管理基準違反等はないか。

**答弁** 当間市民部長 市内の基地で基準違反等の状況の発生は確認されていない。発生した場合は、沖縄防衛局及び米軍基地渉外課より本市へ通知する連絡体制は構築されている。

四 認定こども園化する公立幼稚園について

**質問** 認定こども園化する公立幼稚園について伺う。

**答弁** 上門こども部長 認定こども園は、幼稚園と保育所の両方の機能を備え、地域の子育て支援の機能も兼ね備えた施設である。本計画では本市の幼児教育の充実のため、2020年4月より津堅幼稚園を除く全ての公立幼稚園17園で3歳児から受け入れ、2022年度までに17園全ての公立幼稚園を認定こども園へ移行する計画である。運営は、社会福祉法人や学校法人の民間活力を生かした公設民営・民設民営を11園程度、公設公営の認定こども園を6園程度とする計画。

五 認定こども園の導入で老朽化している公立幼稚園の移行はどうか

**質問** 老朽化した公立幼稚園を認定こども園に移行する場合、幼稚園を建築するのかが。

**答弁** 上門こども部長 改築したばかりの新しい公立幼稚園は現状を基本として認定こども園への移行を計画している。老朽化により建てかえが必要なのは、移行の際、もしくは移行後に建てかえ等を行っていく。建てかえに関しては、移行後の運営が社会福祉法人等の民営の場合には、国や県の補助を活用して建てかえを考えている。また、公営の場合には、基本的に市が建てかえを実施していく。



かけはし  
たいら えいじゅん  
平良 順

- 一 企業誘致について
- 二 税務行政について
- 三 行政事務の効率化について
- 四 公民館施設整備について
- 五 市内業者の育成について

一 企業誘致について

**質問** イーレックス株式会社バイオマス発電所について伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 中城湾港新港地区に建設予定の発電所は、パームヤシ殻、木質ペレット等の輸入木質バイオマスを主燃料として4・9万キロワットの発電所出力です。

**質問** 発電所の立地による雇用や、バイオ燃料輸送に関連する経済効果について伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 運転及びメンテナンスで地元を中心に10人程度の雇用予定とのこと。建設時や定期点検等に数百人の作業員が現地入りするので、地域の経済効果が多く見込まれる。

**質問** 発電所の騒音対策について伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 市の公害防止条例に基づき、騒音規制基準をクリアするよう、設計段階での調整を進めている。

**質問** 共有地の固定資産税徴収方法について、民法第432条に基づく案内による納付書の送付ができないか伺う。

**答弁** 中本総務部長 税額の課税処分には民法の規定は準用されていない。持分に応じた納税通知書を送達すべきでないと考えます。

**質問** RPA(ロボティック・プロセスオートメーション)の導入について

二 税務行政について

**質問** 天願企画部長 導入について、つくば市で共同研究や京都府での導入効果検証業務等が行われている。実績報告書によると、市民税業務及び市民窓口業務等において、負荷軽減、効率化が推進されるとなっている。本市で現在導入予定はないが、今後働き方改革を推進する上から、先進自治体の動向を注視する。

**質問** みどり町3自治会公民館へのエレベーター設置について伺う。

**答弁** 当問市民部長 みどり町の公民館については、各自治会の所有となっており、市が直接設置するなどの改修事業は行えない。市自治公民館建設等補助金交付要綱に基づく助成制度があり、同要綱による交付については、100万円を超える事業、事業費の1/2以内で上限250万円となっている。

**質問** 小・中学校で利用する消耗品の市内業者優先発注について伺う。

**答弁** 盛小根指導部長 平成29年度の市内業者、購入状況は、小学校管理費予算の61%、約2,111万7千円、振興費予算の77%、約2,062万2千円となっている。

**質問** 市内文具等納品店舗の優先利用に関する要請書への対応を伺う。

**答弁** 盛小根指導部長 市立の各小・中学校に年3回程度、地元企業の優先活用について啓発を行っている。

**質問** 市内業者の育成について



かけはし  
いは よしあき  
伊波 良明

- 一 建築物や公道及び公道に面したブロック塀等の安全性について
- 二 建築物や公道及び公道に面したブロック塀等の安全性について

一 建築物や公道及び公道に面したブロック塀等の安全性について

**質問** 公共建築物の安全点検方法及び点検頻度を伺う。

**答弁** 中本総務部長 その建物に勤務する責任者や担当職員のほか、指定管理者、施設維持等の委託を受けた業者の委託員等が業務の一部として点検している。専門的な点検は、市の技術職員で確認。重要な機械設備、電気設備、消防設備等は、専門業者が定期点検を実施。頻度は建築物の規模用途等により、月1回、または年1回定期点検を行っている。

**質問** 公道及び公道に面した学校ブロック塀等の安全点検や問題がある場合の処置や安全対策を伺う。

**答弁** 島袋都市建設部長 市道・農道の安全点検は、維持管理課で道路パトロールを実施。台風など荒天後には、都市建設部や経済部で調査。市職員全体で対応したこともある。不都合が見えたら、応急措置として歩行者や通行車両の注意喚起の看板やバリケードなどで安全を確保し、その後本格的な復旧工事を行う。

**質問** 宮城教育部長 学校施設のブロック塀は、職員の緊急点検が行われ、特に危険な箇所については、修繕で対応済み。残りの学校施設は、補正予算

**質問** 島袋都市建設部長 道路に異変が生じた場合、その原因を究明し原因者に対応する。車両の長期荷重や経年劣化でわだちやひび割れが発生した場合、市が修繕する。緊急性や優先度を考慮し、効果的に対応したい。

**質問** 民間の危険建築物及び倒壊のおそれのあるブロック塀等の撤去や補修費用を補助する制度が必要だと思いが。

**答弁** 目取真都市建設部参事 次年度以降、地方公共団体の実施する危険ブロック塀の改修・撤去関連事業が交付金の対象となる見込み。今後具体的な支援制度が示された後に方針を検討したい。

二 建築物や公道及び公道に面したブロック塀等の安全性について

や新年度予算で対応したい。安全対策として危険箇所付近に近づかないようロープ等で隔離し、張り紙や看板等で児童・生徒への注意喚起を図っている。

**質問** 公道で漏水によると思われる危険な道路陥没、地盤沈下や凹凸道路への対応を伺う。

**答弁** 島袋都市建設部長 道路に異変が生じた場合、その原因を究明し原因者に対応する。車両の長期荷重や経年劣化でわだちやひび割れが発生した場合、市が修繕する。緊急性や優先度を考慮し、効果的に対応したい。

**質問** 民間の危険建築物及び倒壊のおそれのあるブロック塀等の撤去や補修費用を補助する制度が必要だと思いが。

**答弁** 目取真都市建設部参事 次年度以降、地方公共団体の実施する危険ブロック塀の改修・撤去関連事業が交付金の対象となる見込み。今後具体的な支援制度が示された後に方針を検討したい。

**質問** 期間限定の補助金制度で危険建築物や危険ブロック塀が早急に撤去・補修されると思うが見解を伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 国などの補助金を活用し、最小の経費で危険性が除去できる支援制度とあわせて期限付きの支援方法も検討したい。

**質問** 目取真都市建設部参事 国などの補助金を活用し、最小の経費で危険性が除去できる支援制度とあわせて期限付きの支援方法も検討したい。



かけはし  
まさのぶ  
徳田 政信

- 一 排水路整備について
- 二 環境行政について
- 三 道路行政について

一 排水路整備について

**質問** 字塩屋163番地12の東側排水路の改修整備について、塩屋区から改修要請書が出されているが当局は現状をどう認識しているか。

**答弁** 目取真都市建設部参事 地域から再三整備要請が提出されており、早期の排水路改修及び保護対策が必要な状況であると認識している。

**質問** この排水路整備については、今後どのように計画をしていくのか。

**答弁** 目取真都市建設部参事 平成29年度に概略設計を終えている。今後は平成31年度からの事業実施に向け、取り組みたいと考えている。

**質問** 今後、次年度に向けて実施計画に載せていただけるのか。

**答弁** 目取真都市建設部参事 平成30年度第15回実施計画での採択に向け取り組んでいく。

二 環境行政について

**質問** 中城湾内の北側、護岸との間の干潟に、ヒルギダマシが再び異常に繁殖を始めて、増殖をしてくている。2回目の撤去作業ができるのか伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 県においては中城湾港(新港地区)ヒルギダマシ駆除工事として平成28年度と平成29年度に約4,000万円、面積約10万平方メートル駆除した。今年度の

取り組みとしてはトカゲハゼ等の生息域の保全を目的に、ヒルギダマシの駆除を行っていくと伺っている。

**質問** この樹木はこの地域には一本もなかった。環境問題を訴える団体がここに植えたのがこの原因を招いた。できれば全部撤去をし、干潟を元の姿にできないか。

**答弁** 目取真都市建設部参事 御指摘をいただいた点については、再度県に確認し申し入れをした。



中城湾内の干潟

三 道路行政について

**質問** 豊原中央線について前回質問をしたが、その後どうなったのか。

**答弁** 目取真都市建設部参事 現状の一部区間において車両の対面通行に支障を来している。今後の整備予定として、地先境界ブロックを設置し未舗装部分の舗装を行い、市道幅員を確保して、対面通行が円滑になるよう整備していく計画となる。また、一部に幅員4メートル未満の箇所もあるが、当該箇所については経過観察を行い、必要に応じて拡幅等も検討していきたい。



新政クラブ  
さくだ  
佐久田 悟

- 一 うるま市水産業の現状と課題、活性化へ向けた漁業
- 二 うるま市の観光振興と島嶼地域活性化へ向けた観光情報発信の現状と課題、これからの取り組みについて
- 三 自治体における職員採用試験の傾向とうるま市の現状、採用における取り組みについて

一 うるま市水産業の現状と課題、活性化へ向けた漁業従事者への支援、対応について

**質問** 漁船の航路での座礁事故がないよう組合や漁業関係者との情報交換は重要だと考えるが。

**答弁** 目取真都市建設部参事 関係部署と連携を図り対応を検討したい。

**質問** 金武湾側航路灯について行政として支援策や対応ができないか。

**答弁** 目取真都市建設部参事 現状は屋慶名側と照間側に簡易的な航路灯が設置されており、管理等は与那城町漁業協同組合に対応していただく。

**質問** 漁業者への所得補償など、経営安定対策拡充を県や国へ強く訴えていくべきだと考えるが。

**答弁** 佐久川経済部長 浜の活力再生プランを活用し、漁業コストの低減などを図り、漁業所得を5年間で10%以上の向上を目指す計画に取り組んでいる。

二 うるま市の観光振興と島嶼地域活性化へ向けた観光情報発信の現状と課題、これからの取り組みについて

**質問** 地域おこし協力隊の現状、活動成果について伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 現在、浜比嘉島と宮城島で活動している隊員が、島の土産品づくりや地域コミュニティの活性化に向けた支援を行っている。

**答弁** 佐久川経済部長 島の魅力や島が抱える問題点など、隊員としての視点で意見交換などを行っていく。

**質問** 島嶼地域全体が連携して観光情報を発信する取り組みについて伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 光インターネットサービスの整備、海中道路、島嶼地域など東部地域への自転車ネットワーク構築、与那城庁舎跡地へのホテルの建設計画など推進したい。

三 自治体における職員採用試験の傾向とうるま市の現状、採用における取り組みについて

**質問** うるま市の職員採用試験の応募状況、採用人数について伺う。

**答弁** 仲本総務部長 平成27年429人受験、29人採用。平成28年度432人受験、25人採用。平成29年度428人受験、34人採用となっている。

**質問** 多様化する住民ニーズに対応可能な人材の獲得に向け、人物重視の採用試験改革も重要だと考えるが。

**答弁** 仲本総務部長 筆記試験に重きを置くのではなく、人を思いやる心を備えた上で使命感を持ち、市のために働く熱意を持った職員を迎えることができればと考えている。

**質問** 職員にも年齢を経ることに職員意識改革研修も必修だと考えるが。

**答弁** 仲本総務部長 3年目、6年目、9年目の職員を対象に意識改革を図るべく研修を実施。うるま市のためによりよい仕事ができる人材育成に努めたい。



いぶきの会  
たか えす けん じ  
高江洲 賢治

- 一 幼稚園改築について
- 二 側溝整備について
- 三 公園整備について

一 幼稚園改築について

**質問** 現在、うるま市公立幼稚園・保育所の認定こども園移行等基本計画が作成された。老朽化した中原幼稚園の改築計画について伺う。

**答弁** 上門こども部長 うるま市公立幼稚園・保育所の認定こども園移行等基本計画に基づき、中原幼稚園も2020年4月より3歳児からの受け入れを実施していく予定。新たな教室の確保を図る計画です。



中原幼稚園園舎

二 側溝整備について

**質問** 県道85号線メイクマン前、江洲十字路から前原向け両側の側溝整備について、現在両側の側溝は潰れた状態で、土砂や枯れ葉、ごみ等が詰まり、早急な対応が必要だと思ふ。

**答弁** 目取真都市建設部参事 県中郡土木事務所によると、前原向け左側については、平成26年度から順次、災害防除工事に伴い、側溝補修を行っており、平成30年5月に完了していること。また、前原向け右側斜面の災害防除工事に伴う側溝補修は、平成31年度以降に実施予定と伺っている。

三 公園整備について

**質問** サンエー具志川メインシティ駐車場横の江洲第2公園整備計画の現在の進捗状況を伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 平成30年4月にうるま市土地開発公社からの用地買収が完了している。整備については、防衛事業の採択に向け、現在は沖縄防衛局と調整中です。

**質問** 江洲グスク跡文化財指定について、昨年の12月定例会で一般質問をしているが、現在の進捗状況を伺う。

**答弁** 宮城教育部長 江洲グスクについては、今月9月後半から発掘調査を行う予定で準備を進めている。要請のあった江洲グスク全体を指定するのか、江洲按司とノロの墓をまず指定し、その後グスク全体に範囲を広げていく方法がある。今後、文化財保護審議会でのような方法での指定が望ましいかについて議論したい。

**質問** ヌーリ川公園の事業完了時期と江洲グスク跡公園整備計画について伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 ヌーリ川公園整備事業は、平成34年度の完了予定。江洲公園の事業化は、ヌーリ川公園整備事業の完了後に市の財政状況や他の公園事業の進捗状況を考慮しながら検討していく。



新政クラブ  
き やん つとむ  
喜屋武 力

- 一 栄野比区的生活道路の生活排水側溝工事と道路整備について
- 二 字前原地区の教会前を流れる排水溝について(下原第3雨水幹線)
- 三 字前原、県道36号線より通称4区向け宮里へ通ずる道路拡張工事について(江洲、前原線)
- 四 児童買春や児童に淫行させる性犯罪について
- 五 危険ドラッグ等の薬物犯罪に対する教育について

一 栄野比区的生活道路の生活排水側溝工事と道路整備について

**質問** 二十数年前から要請されている側溝工事の進捗状況を伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 平成28年度に概略設計を実施したが、地権者の同意が得られず、ルート変更の可能性を検討したい。

**質問** なぜ、これまでルートの変更を考へなかつたのか。

**答弁** 目取真都市建設部参事 当該所有地を迂回する経路変更を2案検討したが、変更も困難であり事業化を中断した。当該道路整備は重要と承知しているため再検討したい。

二 字前原地区の教会前を流れる排水溝について(下原第3雨水幹線)

**質問** 下原第3雨水幹線のボックスカルバート改修計画の進捗状況を伺う。

**答弁** 儀保水道部長 平成31年度の策定を予定。前原地区教会付近の県道36号線上流部を含め、関係部署と連携し改修計画を策定したい。

**質問** 下原地域は商業地域として見直し、南の玄関口として道路の大幅な拡張整備が必要と思ふ。

**答弁** 目取真都市建設部参事 広域的な道路網の計画が必要。雨水幹線排水路の利用も検討したい。

三 字前原、県道36号線より通称4区向け宮里へ通ずる道路拡張工事について(江洲、前原線)

**質問** 通称4区、江洲前原線の道路拡張が必要。下原第3雨水幹線をボックスカルバートに変え、その上を道路として使用できないか。

**答弁** 目取真都市建設部参事 当該所のない子が多し。学校で性教育授業はどのように行っているのか。

四 児童買春や児童に淫行させる性犯罪について

**質問** 児童買春などの性犯罪被害は過去10年で最多。福祉犯罪の摘発件数は全国的に高い。本市の取り組みを伺う。

**答弁** 当間市民部長 みだらな性行為等の検挙件数は2件。警察が市民等からの情報提供や内定調査を実施している。

**質問** 性犯罪被害は不登校や家に居場所のない子が多い。学校で性教育授業はどのように行っているのか。

**答弁** 盛小根指導部長 不登校児童等は、昨年度の同時期を上回る。教師が子供の欠席に敏感になることで早期発見・早期対応したい。また、性教育への取り組みは、保健師を招いて思春期講演会を実施している。

五 危険ドラッグ等の薬物犯罪に対する教育について

**質問** 危険ドラッグ等は、ネットで簡単に入手できる。ネット販売の取り締まりについて伺う。

**答弁** 当間市民部長 ネット上の販売摘発は市民等からの情報提供や検挙被害者からの情報をもとに実施していること。

**質問** 通称青パトの役割や成果について伺う。

**答弁** 当間市民部長 市内48団体66台の規模で防犯ボランティアの一環として実施。犯罪発生抑制力となっており、県内の刑法犯認知件数の大幅な減少もその成果と考える。





新政クラブ  
幸地 政和  
こうち まさかず

- 一 教育行政について
- 二 都市行政について
- 三 市民行政について
- 四 観光行政について

一 教育行政について

**質問** 学校プールと遊泳用プールの衛生基準において、藻が発生している状況で遊泳した場合、健康に与える影響について伺う。

**答弁** 盛小根指導部長 皮膚の弱いところや目に刺激を受けて結膜炎を起こすことがある。

**質問** 統一した安全衛生管理ガイドラインについて伺う。

**答弁** 宮城教育部長 今後、ガイドラインの統一について関係各課で検討させていただきたい。

**質問** 管理責任者・衛生管理者、監視員・救護員の知識及び技能の確認方法について伺う。

**答弁** 宮城教育部長 プール衛生管理者講習を受講したものが在籍する業者に証明書を提出させ、確認している。また、監視員や救護員は教員で対応している。

**質問** 学校プール及び遊泳用プールの長寿命化対策及び施設の改善計画について伺う。

**答弁** 宮城教育部長 次年度策定予定の学校施設長寿命化計画で検討したい。遊泳用プールは大規模な修繕計画はないが、さまざまな観点から検討が



プールの衛生管理を調査

必要と考えている。

一 都市行政について

**質問** 旧東恩納弾薬庫(楚南地区)跡地の楚南地区跡地整備計画の進捗状況について伺う。

**答弁** 天願企画部長 沖縄防衛局や沖縄総合事務局跡地利用対策課と情報を共有し、情報収集に努めている。

**質問** 楚南地区は、今後どのような方法で跡地利用の計画を推進しますか。

**答弁** 天願企画部長 市全体の事業計画との整合性や優先順位等を総合的に勘案しながら、検討する。

**質問** 楚南2号線(軍用道路)は合意された軍用地として返還要請すべきと思うが。

**答弁** 天願企画部長 楚南地区の地権者の合意形成を図る必要がある。

**質問** 楚南2号線の今後の道路整備計画を伺う。

**答弁** 天願企画部長 楚南地区の整備計画を慎重に検討していく。

二 市民行政について

**質問** 聖魂之塔刻銘板整備事業の実施方針を伺う。

**答弁** 上原福祉部長 今年度工事着手に向けて取り組む。

四 観光行政について

**質問** 闘牛のまち宣言を全国に向けて宣言する時期に来ていると思うが。

**答弁** 佐久川経済部長 次年度の宣言に向け、取り組みたい。



かけはし  
中村 正人  
なかむら まさと

- 一 家畜の排せつ物について
- 二 合併特例債について
- 三 職員採用について
- 四 公共事業のあり方について

一 家畜の排せつ物について

**質問** うるま市の家畜農家は排せつ物の処理に関し、厳しい状況にある。県内の処理場の現状について伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 県内の堆肥生産等事業者は41事業者。本島内は34事業所となっている。そのうち牛ふん等の受け入れ可能な近隣事業者は、市内は1事業者、金武町に1事業者、宜野座村に1事業者である。

**質問** 受け入れ先の問題や今後の対応策を伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 今後の対応策について、家畜ふん尿処理や悪臭軽減は、今年度実施を予定している持続可能な循環型農業システムの構築を目指す耕畜連携総合整備事業において検討する。本事業は、家畜ふん尿を適正に堆肥化する畜産農家とその堆肥を使用する耕種農家の共通理解のもと連携を図る。

二 合併特例債について

**質問** 期限の延長と事業、法的事項等の内容について伺う。

**答弁** 天願企画部長 合併特例債は、当初発行可能額の80%を活用することとし、発行予定額を364億円としていた。東日本大震災に伴い、合併特例債の期間を合併年度及びこれに

続く15力年度とし、公共事業に係る合

併特例債の額を満額となる423億円としている。

**質問** 本市における合併の特例債の活用実績を伺う。

**答弁** 天願企画部長 平成29年度事業までの着入実績は372億円。発行可能額全体の87.9%である。

**質問** 活用可能な事業額(残額)を伺う。

**答弁** 天願企画部長 平成30年度以降の活用可能残額は83億円である。

三 職員採用について

**質問** 選考採用に至った経緯を伺う。

**答弁** 仲本総務部長 技術系部署において、本来技術系職員の配置が望ましいと思われる業務に、事務系職員が配置されていることもあり、課題の改善に向け、民間企業等職務経験者を対象に、採用試験を実施した。

四 公共事業のあり方について

**質問** うるま市におけるPFI事業の導入の基本的な方針と考え方を伺う。

**答弁** 天願企画部長 公的部門の負担削減による財政健全化や公共サービスの質の向上、新たなビジネス機会の拡大による経済成長等の多様な面で効果を発揮するものであり、公共施設等の整備、運営において、積極的な導入が求められている。



希望 伊波 洋  
いほし ひろし  
いほ しょう

一 こども・福祉行政について  
二 公共施設整備について

一 こども・福祉行政について

**質問** 石川慰霊の塔の戦没者刻銘板設置について進捗状況を伺う。

**答弁** 上原福祉部長 9月補正予算で設計委託料を計上。年内には建設費の概算額を算出し、石川遺族会と調整。設置に向けて取り組みたい。

**質問** 戦没者刻銘板の名簿作成について伺う。

**答弁** 上原福祉部長 遺族会の保有する戦没者名簿と平和記念公園内の平和の礎に刻銘された名簿との確認作業を開始。遺族会と連携を図り、設計業務と並行して名簿作成を完了する。



聖魂之塔

**質問** 「二つある」の中北部支所設置を提案したい。元石川庁舎を利用できないか。

**答弁** 当間市民部長 中北部支所の設置について確認したが、現在のごとく設置計画はない。本市においては、「二つある」内に男女共同参画センターを設置。人材の育成や効果的な事業の推進に努めている。

**質問** 母子相談センターについて、行き届いた支援を常設で実施する拠点とするため、石川庁舎に隣接する保健相談センター内に設置してはどうか。

**答弁** 上門こども部長 10月1日開設予定のうるま子育て世代包括支援センターで、妊娠期からの切れ目のない相談支援を強化する。その機能と

一 こども・福祉行政について

して、子育て支援のあり方の研究を想定し、地域子育て支援センターを活用した対応の調査・研究を進めたい。

**質問** 高齢者福祉サービス事業で、月額最大8,500円分の補助を行い、紙おむつや尿とりパッドを支給する事業を90歳以上の方々に対し、条件を問わず、支給対象となるよう要綱改正できないか。

**答弁** 上原福祉部長 当該予算を捻出するのは厳しい。

**質問** 家族が負担を感じた場合、支給対象となる手立てはあるのか。

**答弁** 上原福祉部長 65歳以上の高齢者を在宅介護する介護者に対して月額5,000円、年額6万円を支給。さまざまな在宅福祉サービス事業もあり、これらのサービスを利用することで、介護負担の軽減が図られている。

二 公共施設整備について

**質問** 石川多目的ドーム周辺機能強化整備事業の進捗状況を伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 今年度内に基本設計を取りまとめ、次年度以降実施計画など順次、取り進む。

**質問** 石川インター周辺広域観光拠点施設整備事業の進捗状況を伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 関連計画や調査報告書等の分析を平成29年度内で行った。最終的な事業の方向性を取りまとめる。

※その他「下水道行政」「行政改革」について質問しました。



いぶきの会 尚法 又吉  
また よし のり ひさ  
また よし しょう ほう

一 川崎ルーシー河線道路改良事業について  
二 あげな幼稚園・小学校施設管理について  
三 道路粉じん被害について

一 川崎ルーシー河線道路改良事業について

**質問** 川崎ルーシー河線と具志川環状線が交差する十字路への横断歩道設置について伺う。

**答弁** 島袋都市建設部長 県道具志川環状線と川崎ルーシー河線交差点への横断歩道設置について、事業の進捗に応じて設置したい。

**質問** キャンプ・マクトリアス正面ゲート入り口前から具志川環状線につながる一直線の道路整備について伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 当該住宅密集地の住環境改善の必要性は、市も認識している。課題解決について、地域から要請があれば、当該道路や狭隘道路の拡幅整備などを含め、地域の意見も参考に検討したい。

二 あげな幼稚園・小学校施設管理について

**質問** 幼稚園外周フェンスの補修工事について伺う。

**答弁** 宮城教育部長 あげな幼稚園屋外環境整備事業において関係部署と協議している。

**質問** 幅員が広い雨水幹線のふたの早急な取り付けについて伺う。

**答弁** 宮城教育部長 雨水幹線の上面に仮設的にふたをして、安全対策をすることも一つの方法だと考える。

**質問** 幼稚園側からの新たな通学路（正門）の設置について伺う。

**答弁** 宮城教育部長 あげな幼稚園屋外環境整備事業の中で検討する。  
**質問** 職員駐車場内にある雨水幹線と

一 川崎ルーシー河線道路改良事業について

の間には、高低差約1メートルのくぼみがあり大変危険である。くぼみを埋め、駐車場を整備し、学童保育送迎車場を確保のため、広い駐車スペースが必要であると伺った。現在の状況を伺う。

**答弁** 宮城教育部長 あげな幼稚園屋外環境整備事業の中で検討し、事業化の際には、駐車場、正門及び通用門などを配置計画の中で検討したい。

**質問** 運動場防球ネット及びバックネットの設置について伺う。

**答弁** 宮城教育部長 今年度で設計業務委託発注し、次年度に着工する。

三 道路粉じん被害について

**質問** 路面、街路樹、近隣の畑や住宅は真っ白にほこりまみれになる。当局は確認したことがあるか。

**答弁** 当間市民部長 路面、街路樹、近隣の畑や住宅へ土ぼこりが飛散する現状は生活環境に支障を来たと認識している。大きな要因と思われる里道、路面の対策が急がれると考える。

**質問** アスファルトをコルターで固めるのが一番の策だと考えるが。  
**答弁** 島袋都市建設部長 道路を傷つけた場合は、原因者が復旧することになっていく。本里道の路面損傷は、生コン社によるものであり、事業者で対策を行うよう指導している。

※その他「全国学力・学習状況調査について」「外3件」について質問しました



新クラブ  
おさむ  
奥田 修

- 一 次年度(2019年度)内閣府沖縄関係予算について
- 二 「ふるま市島しょ地域学校跡地・跡施設活用方針」に基づく事業について
- 三 「島しょ地域移住・定住者向け情報整備事業」について
- 四 住環境の整備について
- 五 「母子家庭生活支援モデル事業」マザーズスクエアうるはしの現状(活動状況)と今後の取り組みについて
- 六 海中道路世開橋「平安座第一航路」の浚渫について

一 次年度(2019年度)内閣府沖縄関係予算について

質問 同予算は減少傾向にある。市長は県市長会会長として副知事に同行し要請行動を行った。要望の趣旨と期待度」を伺う。

答弁 天願企画部長 沖縄らしい優しい社会、自立型経済等の構築により、県民が望む将来像を実現する。一括交付金の減少に歯止めがかかることを期待する。

二 「ふるま市島しょ地域学校跡地・跡施設活用方針」に基づく事業について

質問 旧宮城幼稚園、小学校跡活用「高齢者福祉施設」事業の公募時期と事業者応募件数の見込みを伺う。

答弁 上原福祉部長 9月または10月を目標とし、公設民営型や通所介護共用型に変更した。複数者の応募を期待する。

三 「島しょ地域移住・定住者向け情報整備事業」について

質問 「仮称」移住受け入れ推進協議会」を試行的に運営することだが、取り組み状況を伺う。

答弁 天願企画部長 移住相談がワンストップでできる仕組みを構築する。法人化に向けた検討とあわせ、次年度以降検討する。

四 住環境の整備について

質問 浜区市道勝連6-4号線新規道路整備について、未同意地権者に新たな動向があったか伺う。

答弁 目取真都市建設部参事 4人か

ら同意が得られず厳しい状況である。今後自治会と連携を図り取り組む。

質問 平安座地区下水道(流域下水道)の取り組みについて、33年度以降の中期整備計画の中で、基本設計の策定、事業実施を行うはずだが、今後、見直しや変更等の有無を伺う。

答弁 儀保水道部長 平成30年11月の事業認可に取り組んでいる。現時点での変更はなく、同計画に基づき進める。

五 「母子家庭生活支援モデル事業」マザーズスクエアうるはしの現状(活動状況)と今後の取り組みについて

質問 マザーズスクエアうるはしの①現状(活動状況)②事業期間③事業運営④対象世帯について伺う。

答弁 上門こども部長 ①支援終了者のうち3人が正社員として雇用された。相談件数は2,014件。附帯事業の学習支援事業では、全員希望高校へ合格した。②事業が終了する平成33年夏以降も継続が必要と考える。③支援施設は継続実施する。④平成29年10月に父子世帯も対象にし、「ひとり親家庭生活支援モデル事業」とした。

六 海中道路世開橋「平安座第一航路」の浚渫について

質問 「平成18年1月24日付う建土第8277号」で確認事項が2点ある。同工事施工計画の中に位置づけられているか。

答弁 目取真都市建設部参事 航路横断のための階段、航行灯や誘導灯等の設置を予定している。

## 議会改革調査特別委員会(中間報告)

市議会における議会改革は、これまで議会運営委員会などで協議され、対面式質問席の設置をはじめ、市議会だよりの発刊や議会ホームページの開設、インターネットライブ中継や録画中継を開始した。それから、議員定数については、合併前の議員定数87人から57人削減するなど積極的な改革に取り組んできた。

また、一般質問の持ち時間や質疑回数の見直し、一般質問の一回一答制導入、常任委員会や特別委員会の行政視察、政務活動費の充実に努めるとともに、平成28年から市議会だよりに議員の賛否一覧を掲載するなど、市民に開かれた議会を推進してきた。

こうした中、さらに議会改革を推進すべきとの意見があり、平成29年12月21日に「議会改革調査特別委員会」を設置した。平成30年9月までに委員会を8回開催し、その間、県内各市議会の議会改革状況の

把握や議員アンケート、県内先進地を視察した。その後、各会派からの「議会改革の具体的取組事項」について、①タブレットの導入(ペーパーレス化の推進)、②会派代表質問の導入、③選挙費用の公費負担、④正副委員長の手当支給、⑤つわり休暇、産前産後休暇、子の看護・介護休暇等の新設、⑥常任委員会の再編、⑦授乳室整備等育児中議員の支援、⑧スマートフォンを活用した議会中継(録画を含む)の視聴など、23項目に意見を集約した。

これらの項目は改選後、新議会に申し送りすることで合意し、さらなる議会機能の充実や市民に開かれた議会の実現に向け、継続して検討されるよう名嘉真宜徳委員長が報告した。



定例会最終日、中間報告を行う名嘉真宜徳委員長(議会改革調査特別委員会)

## 津堅島訓練場水域におけるパラシュート降下訓練の中止を求める意見書

平成30年8月29日、30日の両日、うるま市津堅島沖合において、米軍によるパラシュート降下訓練が実施された。

本市議会は、これまでも航行安全上の問題等から津堅島訓練場水域におけるパラシュート降下訓練の中止を求めてきたところであるが、度重なる訓練の実施は、地域住民に対する安全確保の配慮が欠けており、いかなる理由があるにせよ到底容認できるものではない。

沖縄の施設・区域に関する昭和47年の日米合同委員会合意（5.15メモ）において、この水域の使用条件は水陸両用訓練とされているが、パラシュート降下訓練には触れられていない。

また、船舶の航行や漁業について「軍隊の活動を妨げない限り制限しない」とされていることから、本島と津堅島を結ぶ定期船や漁船等が頻繁に航行しており、事前に通知がなされてはいるものの、一歩間違えれば重大な事故につながる可能性があり、極めて危険である。

さらに、米軍が当該水域を使用する場合、7日前までに沖縄防衛局に通告することとされているが、実際には使用する日時のみでの通知で、その訓練内容等については明らかにしていない。

津堅島訓練場水域内の米軍によるパラシュート降下訓練は、昨年9回実施された。さらに、今年に入って既に8回行われ、その都度うるま市及び沖縄県は、訓練の中止を強く求めたが、それを無視する形で強行されてきており、同訓練の常態化が強く懸念されるものである。

よって、うるま市議会は、市民の生命・財産、安全を守る立場から津堅島訓練場水域でのパラシュート降下訓練に対し、厳重に抗議するとともに下記事項について強く要請する。

### 記

1. 津堅島訓練場水域でのパラシュート降下訓練を一切行わないこと。
2. 日米合同委員会において「津堅島訓練場水域ではパラシュート降下訓練を行わない」ことを決定し、明記すること。
3. 日米地位協定の抜本的改定を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年9月13日

沖縄県うるま市議会

### 意見書のあて先

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣  
 沖縄及び北方対策担当大臣 外務省  
 沖縄担当大使 沖縄防衛局長

### 抗議決議のあて先

駐日米国大使 在日米軍司令官 在  
 沖米国総領事 在日米軍沖縄地域調  
 整官

※抗議決議の内容は、意見書と同様であるため掲載しておりません。  
 (市ホームページをご覧ください。)



意見書及び抗議決議は、全会一致で可決された。

## うるま市こども議会



こども議会宣言決議は、全会一致で可決された。

平成30年8月16日(木) 将来のうるま市を担うこどもたちが、日ごろ市政に対して持っている意見や希望、疑問等について議論しました。こどもたちの新鮮な発想をうるま市政に反映させるとともに、こどもたちが議会の仕組みと運営を体験することにより、民主的な政治がどのように進められるかについて理解を深めることを目的として開催されました。

## うるま市こども議会宣言決議

私たちは、今日「こども議会」で、私たちが住む「うるま市」について意見を出し合いました。今日出た、意見や提言は私たちが将来のうるま市のまちづくりについて、自ら考え、行動する機会となりました。

学校や社会において広い視野と洞察力を身につけ、うるま市を担う原動力になっていかなければなりません。

そのために、私たちの住むうるま市の自然や文化、福祉、行政などに一層関心を高め、色々なことを調べ、考え、知識を深めるとともに、自ら表現する力を向上させて、うるま市の良い所を市内外に発信していきます。

私たちうるま市こども議会は、市民の一人として、うるま市を愛しお互いの幸せを願い、一人ひとりが希望に満ちた魅力あるまちづくりに心がけ、次のことを宣言します。



こども議会宣言決議案を提出する  
金城りりか議員

- 一 一人ひとりが互いを尊重し思いやる心を持ち、いじめがなく明るく健やかに過ごすことのできる魅力ある学校をめざします。
- 一 自然を愛し環境を大切にし、ルールを守り、こどもからお年寄りまで、安全で安心できる、住みよいまちをめざします。
- 一 働く喜びを知り、自分の役割を果たすことのできる活気あふれるまちをめざします。
- 一 男女がお互いに個性や考え方を尊重し、責任を分かちあい、協力することのできるまちをめざします。
- 一 うるま市の伝統・文化、歴史に誇りを持ち、国内外に積極的に発信し、うるま市を訪れる方々をあたたかく迎えるまちをめざします。

平成30年8月16日

うるま市こども議会

きょうはこども議会で疑問を解消し、いろいろなことを知ることができました。また、他校の方ともかかわることができたので、とてもうれしく思います。副議長を任されて不安もありましたが、とてもいい経験になりました。

市長及び執行部の皆さん、わかりやすく答弁していただき、ありがとうございました。



久保田 ひなた

### こども議会副議長あいさつ

これから市や学校に貢献し、この経験を無駄にしないよう、私生活で生かしていきたいと思えます。きょうは本当にありがとうございました。



上原 未羽

### こども議会議長あいさつ

こども議会に参加して、とてもいい経験ができました。私は、議長をさせていただき、とても緊張しましたが、皆さんの協力のもと、今日の議会をスムーズに進めることができました。

# うるま市議会組織構成図

平成30年10月22日現在  
自：平成30年10月20日  
至：平成34年10月19日

議長 幸地政和  
副議長 名嘉眞宜

任期

常任委員会			
企画総務 (8人)	建設 (7人)	教育福祉 (7人)	市民経済 (7人)
◎中村まさ人 ○伊盛サチ子 蔵根武剛 國場正剛 平良榮順 仲程孝雄 仲本辰雄 宮城一寿	◎下門まさる ○東浜光雄 伊波良明 兼本光治 名嘉眞宜 松田久男 宮里朝盛	◎大城直 ○金城加奈栄 伊波洋力 喜屋武力 幸喜勇 眞栄城隆 又吉法尚	◎佐久田悟 ○比嘉直人 大屋政善 荻堂せい盛 くに吉亮 天願ひさ久 徳田政信

◎委員長 ○副委員長 (委員は五十音順)

議会運営委員会 (11人)	特別委員会		議員数
	基地対策 (11人)	議会広報 (10人)	
◎大屋政善 ○仲程孝雄 伊波良明 伊盛サチ子 大城直悟 佐久田まさる 下門勝徳 名嘉眞宜 中村まさ人 東浜光雄 まつ田久男	◎又吉法尚 ○蔵根武 伊波洋力 伊盛サチ子 大城直悟 荻堂せい盛 喜屋武力 平良榮順 天願ひさ久 仲本辰雄 比嘉直人	◎眞栄城隆 ○宮里朝盛 伊波良明 かねもとみつはる 兼本光治 金城加奈栄 くによしりょう 幸喜勇 こくぼせいごう 國場正剛 佐久田悟 又吉法尚	条例定数 30人 現員数 30人 議員の年齢 最高齢 75歳 最年少 35歳 平均 58歳 政党 公明党 2人 日本共産党 2人 社会民主党 1人 無所属 25人

◎委員長 ○副委員長 (委員は五十音順)

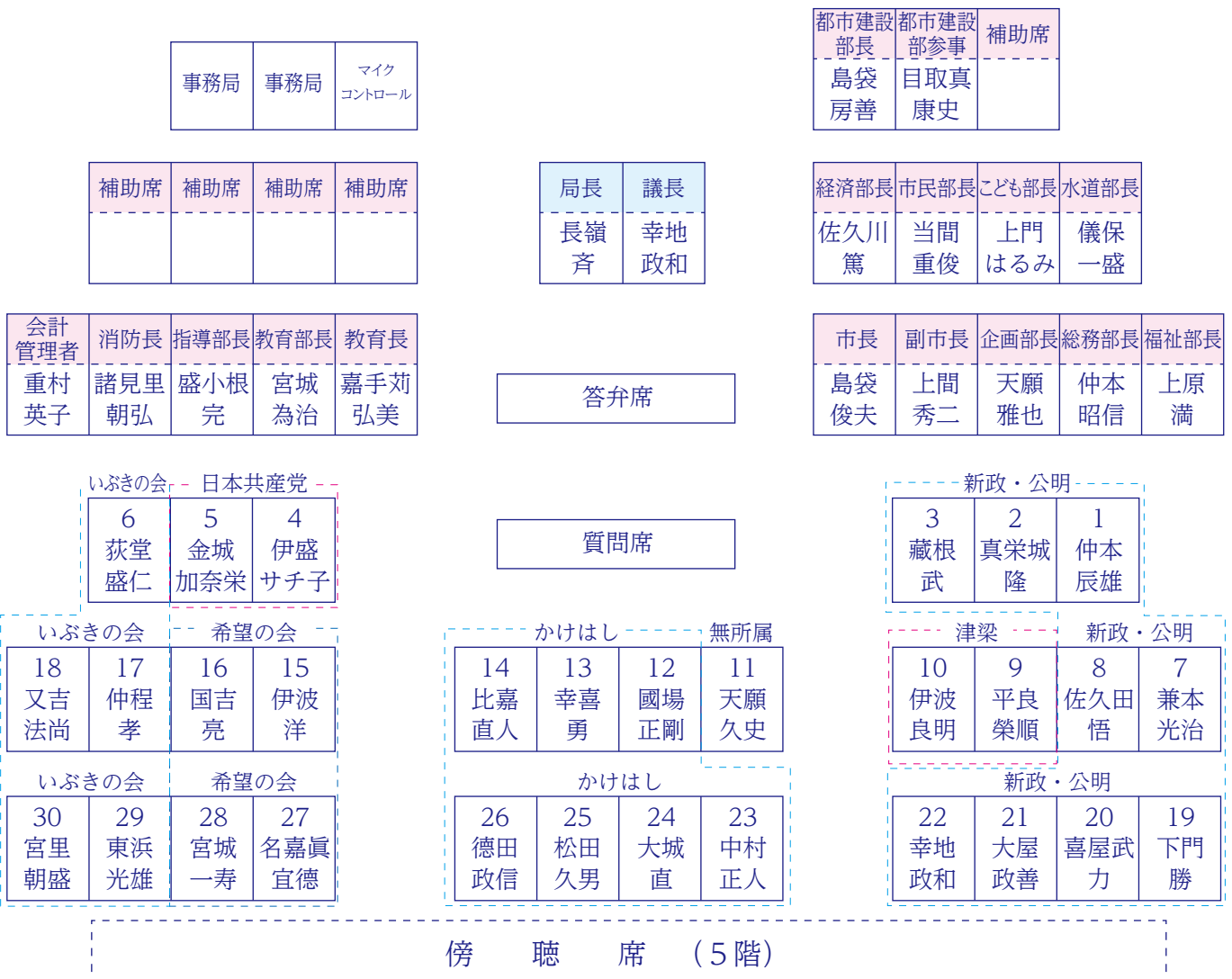
中部北環境施設組合 議会議員 (5人)	中部衛生施設組合 議会議員 (4人)	沖縄県後期高齢者医療 広域連合議会議員 (1人)	会派
おぎ荻堂せいじん かねもとみつはる 兼本光治 さく久田悟 なか村まさ人 宮城一寿	きやんつとむ 喜屋武力 なかほどたかし 仲程孝雄 なまきとく まつ田ひさお男	くらねたけし 蔵根武	新政・公明 9人 かけはし 7人 いぶきの会 5人 希望の会 4人 津梁 2人 日本共産党 2人 無所属 1人

## うるま市議会会派名簿

新政・公明 (9人)	かけはし (7人)	いぶきの会 (5人)	希望の会 (4人)
① 喜屋武 力 2 大屋政 善 3 兼本光 治 4 藏根武 治 5 幸地政 和 6 佐久田 悟 7 下門勝 勝 8 仲本辰 雄 9 真栄城 隆	① 中村正 人 2 大城直 直 3 幸喜勇 勇 4 國場正 剛 5 徳田政 信 6 比嘉嘉 人 7 松田久 男	① 東浜光 雄 2 荻堂盛 仁 3 仲程孝 孝 4 又吉尚 尚 5 宮里朝 盛	① 名嘉眞 宜 2 伊波洋 洋 3 くに吉 亮 4 宮城一 寿
	津梁 (2人)	日本共産党 (2人)	無所属 (1人)
	① 平良榮 順 2 伊波良 明	① 伊盛サ 子 2 金城加 奈栄	1 天願久 史

※条例定数30人、○は会派長（会派長以外は五十音順）

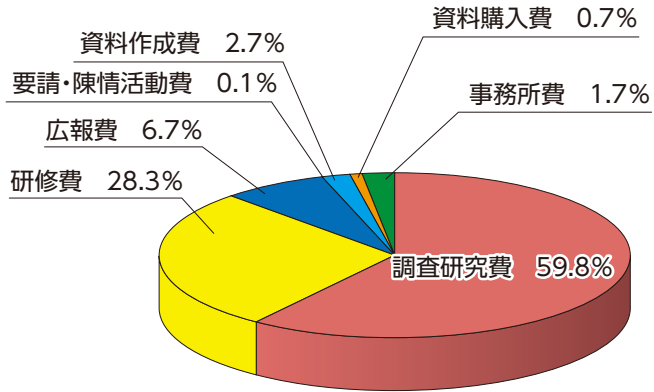
## うるま市議会議場配置図 (傍聴席から)



# 平成29年度政務活動費の使いみち

(単位:円)

項目	金額	構成比
調査研究費	3,833,125	59.8%
研修費	1,812,886	28.3%
広報費	431,056	6.7%
広聴費	0	0.0%
要請・陳情活動費	2,100	0.1%
会議費	0	0.0%
資料作成費	172,452	2.7%
資料購入費	46,003	0.7%
人件費	0	0.0%
事務所費	110,104	1.7%
合計	6,407,726	100%



## 主な調査・研修状況

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

会派名(参加人数)	場所	期日	目的
新政クラブ(6人)	富山県富山市、高岡市 石川県金沢市	H29.8/21～8/24	○富山市四方チャレンジ・ミニ企業団地について ○高岡御車山会館整備事業について ○金澤町屋保全活用推進について
新政クラブ(6人)	大阪府大阪市 岡山県真庭市	H30.2/6～2/9	○「財政問題としての公共施設マネジメント」について ○「バイオマス産業の概要、技術、地域づくり」について
新政クラブ(6人)	東京都内閣府	H30.3/28～3/30	○「平成30年度沖縄振興予算案」について
かけはし(6人)	千葉県袖ヶ浦市、木更津市	H29.11/13～11/15	○袖ヶ浦市農畜産物直売所(ゆいの里)について ○農林水産物・加工品等物販施設(道の駅木更津うまたくの里)について
かけはし(6人)	北海道札幌市、小樽市	H30.1/29～2/1	○小樽市ものづくり産業及び水産加工支援について ○映像産業の振興について
かけはし(6人)	内閣府 衆議院会館	H30.3/19～3/21	○教育費の無償化について ○中城湾港新港地区について
いぶきの会(7人)	北海道札幌市、小樽市	H29.7/24～7/27	○「ちょっとおしえてコール」について ○「子育てアプリ」について ○「認知症カフェ」について
いぶきの会(4人)	那覇市職員厚生会館	H29.8/26～8/27	○「戦後最大の憲法・地方自治の危機に立ち向かう」について ○「住民自治で進める地域づくり」について
いぶきの会(6人)	東京都台東区、内閣府 新潟県南魚沼市	H30.2/5～2/8	○「生涯活躍のまち・日本版CCRC構想」について ○国民健康保険制度改革について ○「防災広場整備事業」について ○「南魚沼版CCRC構想」について
希望(4人)	北海道札幌市、夕張市	H29.7/17～7/21	○第14回全国地方議員交流研修会 ○「夕張市の現状と課題」について
希望(4人)	沖縄県恩納村	H29.8/30～8/31	○アジア経済戦略構想について ○「社会資本整備の必要性」について ○「お笑い米軍基地」
希望(4人)	長崎県雲仙市 佐賀県伊万里市	H30.2/13～2/15	○「移住・永住促進事業の取り組み(経緯・経過)」について ○「議会改革の取り組み(経緯・経過)」について
希望(4人)	沖縄県久米島町	H30.3/22～3/23	○パークゴルフ場設置について ○プロ野球チーム「楽天」誘致について
公明(1人)	福岡県地方議員研究会	H29.8/1～8/3	○公共施設マネジメント
公明(1人)	長野県信州大学	H29.8/24～8/27	○「自治体の子育て支援政策と教育政策」について
公明(1人)	大阪府地方議員研究会	H29.10/17～10/19	○役所を動かす質問のしかた
公明(1人)	東京都地方議員研究会	H30.1/25～1/28	○「国の動きと制度の基礎的解説講座」について

### 編集後記

「編集後記の原稿を」と要望され、気軽に引き受けた。いざパソコンに向かうと困った。なぜなら私は先日初当選したばかりである。12月発行の議会だよりは9月議会の情報伝達紙であり、議会の内容が頭にインプットされていない。お願いされると、トライする習性が染みついてしまっている・・・(汗)

これまで発行された議会だよりを読むと工夫が施されている。定例会の開催月が一目でわかる表紙や発行予算を抑えるため、色数を減らす等々。携わった関係者に敬意を表したい。

市民の皆様には議会の内容をもっと見やすく、わかりやすく伝えていく議会だよりを目指し、書体・ポイント数・注釈等も検討していきたい。

(真栄城隆)

- 委員長 真栄城隆 副委員長 宮里朝盛
- 委員 伊波良明 佐久田悟 兼本光治
- 國場正剛 又吉法尚 幸喜勇
- 金城加奈米 国吉亮

無料アプリ「マチイロ」で市議会をもっと身近に!



アンドロイドの場合



iphone、ipadの場合

[12月定例会は12月3日(月)から開会を予定しております(定例会は2月・6月・9月・12月に開催)]